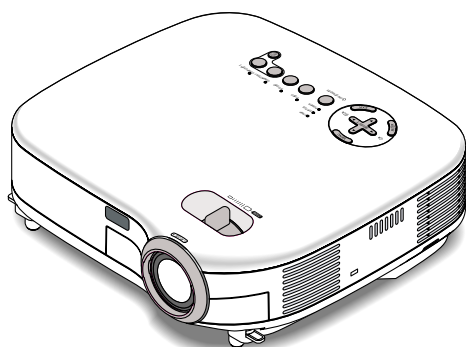


PJ-X2511

取扱説明書

本機を安全にお使いいただくために
ご使用の前に必ずお読みください



- | | |
|-----------------------|---|
| 1. 添付品や名称を —●● | 1 |
| 2. 設置と接続 —●● | 2 |
| 3. 映像を投写する (基本操作) —●● | 3 |
| 4. 便利な機能 —●● | 4 |
| 5. オンスクリーン —●● | 5 |
| メニュー | |
| 6. 本体のお手入れ／ —●● | 6 |
| ランプの交換 | |
| 7. 付録 —●● | 7 |

👉 詳しい目次は 8, 9 ページにあります。

はじめに

このたびは、弊社の液晶プロジェクタ (PJ-X2511) をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2006年4月

安全にお使いいただくために このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。 本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。 また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。	・本製品には、液晶パネル、偏光板、PBS（光偏光素子）、ファン、電解コンデンサなどの有寿命部品が含まれています。有寿命部品は使用頻度や経過時間、使用環境に応じて摩耗、劣化が進行するため、長時間連続使用時、またはご使用環境によっては、早期の部品交換が必要となる場合があります。 ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。 ・摩耗や劣化により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。 ・ランプユニットや乾電池等の消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身の新品購入ならびに交換となります。 ・本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。
保証書について 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。 ・修理を依頼するときには、必ず保証書をご用意ください。 ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。 ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください。 （詳しくは、保証書をご覧ください。） ・ランプユニット、エアフィルタは消耗品のため保証対象品とはなりません。 ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品の）保有期間は、製造終了後5年間です。 ・保証期間後に修理で機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。	本製品は国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。
本製品のハイセーフティ用途での使用について 本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセーフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。 お客様は、当該ハイセーフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。 ハイセーフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。 ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など	電源の瞬時低下について 本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。 （社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）
VCCI適合基準について 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。	本製品の構成部品のうち、ランプには微量の重金属（水銀）が、また液晶パネルには微量の化学物質（アンチモン、砒素）が含有されています。

- ・IBM、PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- ・Microsoft、Windows、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

電源コードの取り扱いは大切に



- 電源コードは大切に取扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。

- ・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
- ・ コードの上に重い物をのせない
- ・ コードをプロジェクタの下敷きにしない
- ・ コードの上を敷物などで覆わない
- ・ コードを傷つけない、加工しない
- ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- ・ コードを加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）ご購入元に交換をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるようなおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクタの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。

- ・ 雨天や降雪中、海岸や水辺で使用しない
- ・ 風呂やシャワー室で使用しない
- ・ プロジェクタの上に花びん、植木鉢を置かない
- ・ プロジェクタの上にコップ、化粧品、薬品を置かない

万一プロジェクタの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてご購入元にご連絡ください。

故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクタを落したり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。ご購入元へ修理をご依頼ください。

次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
- ・ 暖房の近くや振動の多い所
- ・ 湿気やほこりの多い場所
- ・ 油煙や湯気の当たるような場所
- ・ 調理台や加湿器のそば

警告

内部に物を入れない



異物挿入禁止

- プロジェクタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。万一異物がプロジェクタ内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてご購入元にご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクタのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理はご購入元にご相談ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

プロジェクタのレンズをのぞかない



レンズをのぞかない

- プロジェクタのレンズをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。

ランプ交換は電源を切ってから



電源プラグをコンセントから抜く

- ランプの交換は、電源を切り約30秒間待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。詳細は75～78ページをご覧ください。

天吊りの設置について



- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはご購入元にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

注意

ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない



- プロジェクタの通風孔をふさがないでください。またプロジェクタの下に紙や布などの柔らかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクタを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として10cm以上）あけてください。

動作中にレンズキャップをしない



- 動作中にレンズにふたをしないでください。ふたの部分が高温になり溶けることがあります。
- 動作中にレンズの前に金魚鉢、凸レンズ（虫眼鏡）などを置かないでください。火災の原因となることがあります。

移動するときは電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動させる場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。

持ち運びのときレンズ部分に手をかけない



- プロジェクタを持ち運ぶとき、レンズ部分に手をかけないでください。フォーカスリングが回転して指をけがするおそれがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクタをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

投写中は排気口に触らない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近を触らないでください。排気口付近が高温になる場合があり、やけどの原因となることがあります。

注意

キャリングケースの取り扱いについて



無理な扱いはしない

- プロジェクタを入れて振り回さないください。また、本機および本機の添付品以外は入れないください。
プロジェクタやキャリングケースが落下して、けがの原因となることがあります。

キャリングハンドルの取り付けについて



- 添付のキャリングハンドルを取り付ける場合は、添付のネジでしっかりと固定してください。
ネジがゆるんでいると、持ち運びの際プロジェクタが落下して、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 - ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない
 - ・ 指定以外の電池は使用しない
 - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
 - ・ 電池を入れるときは、極性(+と-の向き)に注意し、表示通りに入れる

点検・工事について



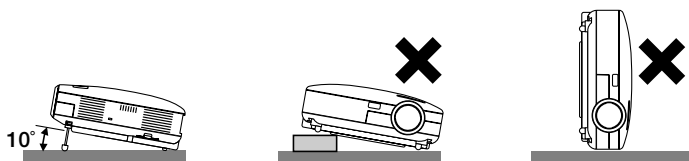
内部の掃除をご購入元で

- 1年に一度くらいは内部の掃除をご購入元などにご相談ください。プロジェクタの内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の掃除費用につきましてはご購入元、または故障・修理に関するお問い合わせ先（「お問い合わせ先」▶ 85ページ）にご相談ください。

お願い

● 性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 本機を傾けて使用する場合は、チルトフットの傾き範囲以内（0～10°）にしてください。チルトフットの範囲を超えて傾けたり、左右に傾けたりすると、故障の原因となります。



- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
 - ・ たばこの煙・ほこりの多い場所で使用、または長時間連続して使用すると、液晶パネル、ファンなどの有寿命部品の早期交換が必要となる場合があります。その場合は保証期間内であっても有償修理となります。
 - ・ 本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、「ファンモード」を「高速」にしてください。（☎ 65ページ）
 - ・ パソコンなどで同じ絵柄の静止画を長時間投写すると、その絵柄が画面に残る場合があります。これは液晶パネルの特性上発生するもので、故障ではありません。パソコン側でスクリーンセーバーをお使いになることをおすすめします。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
 - ・ 添付のソフトキャリングケースに収納して運んでください。
 - ・ 添付のキャリングハンドルを取り付けた場合は、キャリングハンドルを持って運んでください。
 - ・ レンズに傷が付かないように必ずレンズキャップを取り付けてください。
 - ・ 振り回したりして、プロジェクタ本体に強い衝撃を与えないでください。
 - ・ ソフトキャリングケースに収納した状態で、宅配便や貨物輸送はしないでください。プロジェクタの故障の原因となります。

- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手をふれないでください。
また、本機を使用されないときは、添付のレンズキャップをかぶせておいてください。
- 廃棄について
本体およびリモコン用乾電池の廃棄の際は、ご購入元、または自治体にお問い合わせください。

ランプ取り扱い上の注意

- プロジェクタの光源には、高輝度化を目的とした内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。このランプは、ご使用時間とともに輝度が徐々に低下する特性があります。また、電源の入／切の繰り返しも、輝度低下を早めます。
- ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をとまって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本取扱説明書に記してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。指定の使用時間内に使用できなくなった場合でも、ランプは保証の対象外となります。
なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
- ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクタの通風孔から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入ったりした場合には、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクタ内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクタ内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ずご購入元、または故障・修理に関するお問い合わせ先（「お問い合わせ先」 85 ページ）に依頼し、お客様ご自身でプロジェクタ内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

電源プラグを抜く際の注意

以下のような場合は電源プラグをコンセントから絶対に抜かないでください。
機器が故障するおそれがあります。

- 砂時計アイコンが表示されているとき
- 電源を切ったあとのファンの回転中（ファンは約30秒間回転します）

目次

はじめに	表紙裏
安全上のご注意	1
お願い	6
目次	8
本書の表記について	10

1. 添付品や名称を確認する 11

1-1. 添付品の確認	12
1-2. 特長	14
1-3. 本体各部の名称	15
1-4. リモコン各部の名称	19

2. 設置と接続 23

2-1. 設置と接続の流れ	24
2-2. スクリーンとプロジェクタを設置する	25
2-3. パソコンと接続する	26
2-4. RGBモニタと接続する	27
2-5. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する	28
2-6. 書画カメラと接続する	29
2-7. 電源コードを接続する	30

3. 映像を投写する(基本操作) 31

3-1. 映像を投写する流れ	32
3-2. 本機の電源を入れる	33
3-3. 入力信号を選択する	35
3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する	36
3-5. 台形歪みを手動で調整する	39
3-6. 映像を自動調整する	40
3-7. スピーカの音量を調整する	40
3-8. 本機の電源を切る	41
3-9. あとかたづけ	42

4. 便利な機能 43

4-1. 映像と音声を消去する	44
4-2. 動画を静止画にする	44
4-3. 映像を拡大する	45
4-4. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う	46

5. オンスクリーンメニュー	49
5-1. オンスクリーンメニューの基本操作	50
5-2. オンスクリーンメニュー一覧	54
5-3. 映像調整	56
5-4. 画像設定	58
5-5. 機器設定	61
5-6. 詳細設定	63
5-7. 情報	68
5-8. データリセット	69
6. 本体のお手入れ／ランプの交換	71
6-1. フィルタの清掃	72
6-2. レンズの清掃	73
6-3. キャビネットの清掃	74
6-4. ランプとフィルタの交換	75
7. 付録	81
故障かな？と思ったら	82
お問い合わせ先	85
リサイクルについて	85
インジケータ表示一覧	86
投写距離とスクリーンサイズ	88
対応解像度一覧	90
外観図	91
関連商品一覧	92
コンピュータ映像入力端子のピン配列と信号名	92
仕様	93
トラブルチェックシート	94
索引	96

本書の表記について

マークの意味

	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
	注意や制限事項を表しています。
	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。

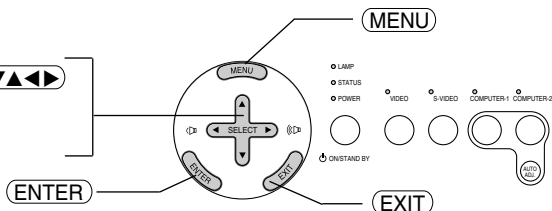
操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン

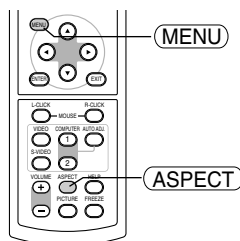
上下左右の場合：(SELECT ▼▲▶◀)

左右の場合：(SELECT ◀/▶)

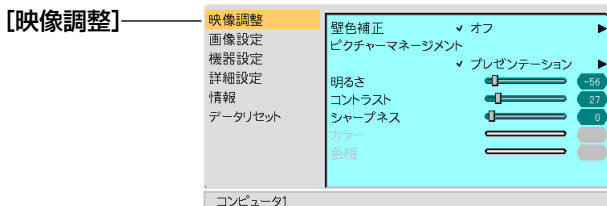
下の場合：(SELECT ▼)



●リモコンの操作ボタン



オンスクリーンメニュー項目の表記例



参考

●本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

第1章

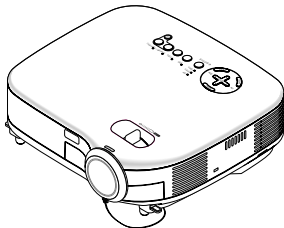
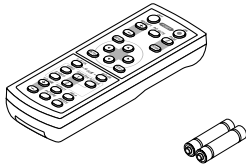
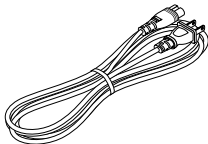
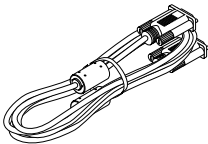
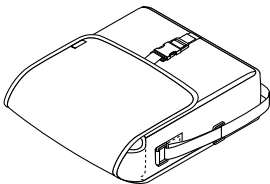
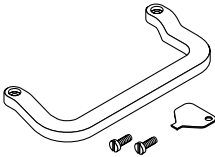
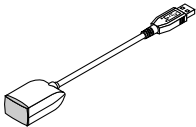
添付品や名称を確認する

.....

1-1. 添付品の確認	12
1-2. 特長	14
1-3. 本体各部の名称	15
1-4. リモコン各部の名称	19

1-1. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

	プロジェクタ (本機) パソコンやDVDプレーヤなどを接続して、画面や映像を大きなスクリーンに映す機器です。 レンズキャップ 本機のレンズに装着し、移動時や保管時にレンズを保護します。
	リモコン 本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときは、添付の単4乾電池2本をセットしてください (● 21ページ)。 単4乾電池2本 添付のリモコンにセットします。
	電源コード AC100Vと本機に接続します。
	RGB信号ケーブル (ミニD-Sub 15ピン) パソコンの画面をスクリーンに投写する場合に使用します (● 26ページ)。
	ソフトキャリングケース 本機や添付品を収納します。移動時や保管時にご使用ください。
	キャリングハンドル (ネジとドライバ付き) 本機に取り付けて持ち運びの際に使用します (● 16ページ)。
	マウスレシーバ パソコンのUSBポートに接続すると、本機のリモコンでパソコンのマウス操作が行えます (● 46ページ)。

次ページに続く

クイックガイド

機器の接続、電源オン、投写画面の調整、操作ボタンの働きなど、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。

取扱説明書（本書）

本機の使いかた、安全のために守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて記載しています。

保証書

プロジェクタの保証内容・条件を記載しています。



- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、ご購入元にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-2. 特長

● 液晶方式の小型高輝度プロジェクタ

液晶方式を採用し、小型で、高輝度を実現しました。

● クイックスタート(9秒) & クイッククーリング(30秒)

パワーオンからわずか9秒で映像が表示され始めます。

また、パワーオフ操作後、わずか30秒でクーリングが終了するため、すぐにかたづけことができます。

● パソコン入力信号を自動調整

アナログRGB出力のFMVやDOS/V互換機など、パソコン入力信号も自動調整。

● U-XGAまでの解像度に対応

XGA (1024×768ドット) にリアル対応、U-XGA (1600×1200ドット) の入力信号までデジタル補間でカバー。

● 投写画面の台形歪みを自動的に補正

本機の上下方向の傾きを感知し、投写した画面が台形に歪むのを自動的に補正します。

● 壁色補正

投写している壁面の色に応じて、見やすい色合いにワンタッチで補正することができます(壁色補正機能)。

これにより、スクリーンが設置されていないところでも、見やすい映像を投写することができます。

● お好みの色を設定&記憶できる、ピクチャーマネージメント機能

プレゼンテーションや映画など、映像ソースに応じた映像補正機能を搭載。5つの映像モードから選択できます。また、お客様が調整した状態を本体内のメモリに記憶できます。

● 無断使用を防止するセキュリティ機能

キーワードを設定することにより、他人が無断で本機を使用できないようにすることができます。

1-3. 本体各部の名称

● 本体前面

ズームレバー

投写した画面の大きさを調整します
(● 38ページ)。

フォーカスリング

映像のピントを合わせます
(● 38ページ)。

リモコン受光部

リモコンの信号を受け
る部分です (● 21ページ)。
本体の前面と背面の2箇所にあり
ます。

レンズ

ここから映像が投写されます。

レンズキャップ

レンズを保護します。

チルトフット (左・右)

投写角度を調整します。チルトレバーを押
して上下に伸縮できます (● 37ページ)。

本体操作部

本機の電源の入/切や、投写する
映像信号の切り換え操作などがで
きます (● 17ページ)。

吸気口/フィルタ

内部のほこりやゴミが入
るのを防止します
(● 79ページ)。

盗難防止用ロック取り付け穴
市販の盗難防止用ケーブルを取り
付けることができます。

吸気口

チルトレバー (左・右)

チルトレバーを上方に押すとチルトフッ
トを伸縮できます。
本機の投写角度を固定したいところで、
チルトレバーから指をはなします (●
37ページ)。

添付品や名称を確認する

1

● 本体背面

スピーカ (モノラル)

音声入力端子から入力され
た音声を出します (● 40
ページ)。

接続端子部

各種映像信号や音声信号のケーブ
ルを接続します (● 18ページ)。

主電源スイッチ

主電源スイッチを「I (入)」にする
と、スタンバイ状態になります (●
33ページ)。

排気口

ランプの熱を排気します。

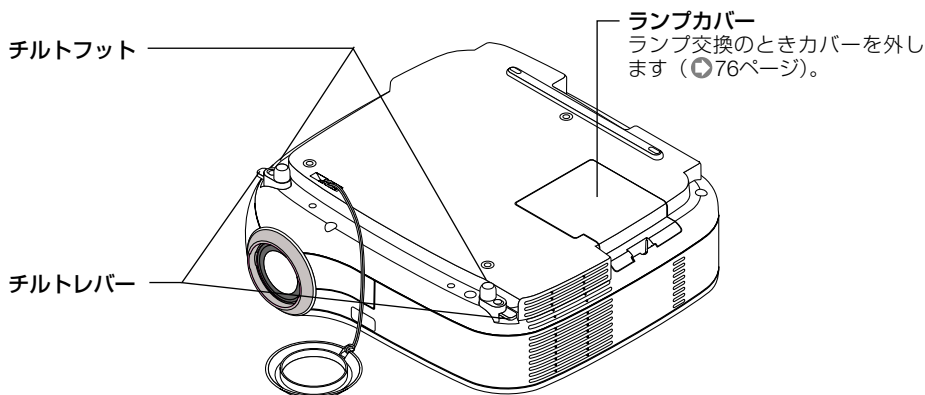
リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です (● 21
ページ)。
本体の前面と背面の2箇所にあります。

AC IN 端子

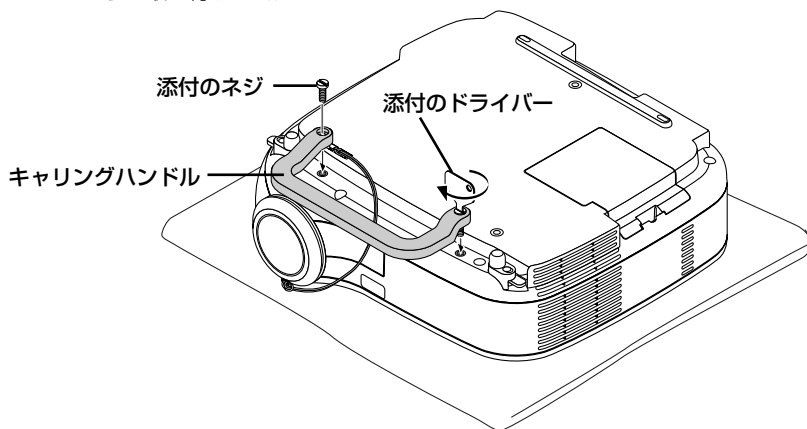
添付の電源コードを接続します (● 30
ページ)。

● 本体底面



参考

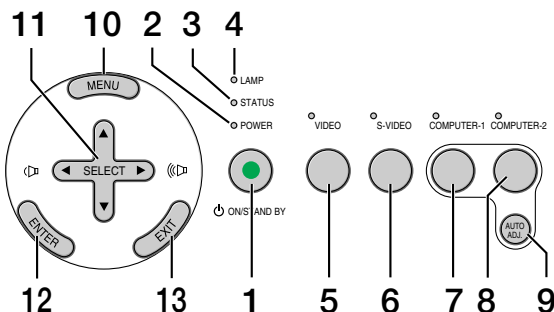
- キャリングハンドルの取り付けかた
お好みに合わせて、持ち運びに便利なよう添付のキャリングハンドルを取り付けることができます。
布などを敷いた上に本機を裏返して置き、キャリングハンドルの向きに注意して、図のように取り付けてください。



注意

- 落下防止のため、ネジでしっかりと固定してください。
- 運ぶときはレンズ保護のためレンズキャップを付けてください。
- 本書では、キャリングハンドルを取り付けていないイラストを使用しています。

本体操作部



1 POWER (ON/STAND BY) ボタン

本機の電源を入/切(スタンバイ状態)します。
電源を入れるときは、2秒以上押します。
電源を切る(スタンバイ状態)ときは、一度押して電源オフ確認メッセージを表示してもう一度(ON/STAND BY) (または(ENTER))ボタンを押します。

2 POWERインジケータ

電源が入っているときは緑色に点灯します(● 33ページ)。
電源が切れている(スタンバイ状態)ときはオレンジ色に点灯します。

3 STATUSインジケータ

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯/点滅します。
詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください(● 86ページ)。

4 LAMPインジケータ

ランプの交換時期がきたことやランプモードの状態(エコモード)をお知らせします(● 87ページ)。

5 (VIDEO) ボタン

ビデオ入力を選択します。
選択すると、ボタン上のインジケータが緑色に点灯します。

6 (S-VIDEO) ボタン

S-ビデオ入力を選択します。
選択すると、ボタン上のインジケータが緑色に点灯します。

7 (COMPUTER 1) ボタン

コンピュータ入力1を選択します。
選択すると、ボタン上のインジケータが緑色に点灯します。

8 (COMPUTER 2) ボタン

コンピュータ入力2を選択します。
選択すると、ボタン上のインジケータが緑色に点灯します。

9 (AUTO ADJ.) ボタン

RGB信号の画像を投写しているときに、最適な状態に自動調整します(● 40ページ)。

10 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します(● 50ページ)。

11 (SELECT) ボタン(音量調整ボタンを兼用)

- ・オンスクリーンメニューを表示しているときに(SELECT) ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます(● 50ページ)。
- ・オンスクリーンメニューを表示していないときは、(SELECT) ボタンで音量の調整ができます(● 40ページ)。

12 (ENTER) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

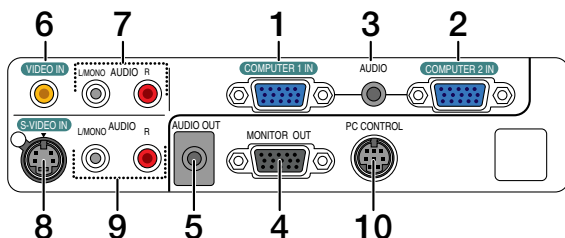
13 (EXIT) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。
確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

1

添付品や名称を確認する

接続端子部



1 コンピュータ1映像入力端子 (COMPUTER 1 IN) (ミニD-Sub 15ピン)

パソコンのディスプレイ出力端子と接続します(●26ページ)。

2 コンピュータ2映像入力端子 (COMPUTER 2 IN) (ミニD-Sub 15ピン)

パソコンのディスプレイ出力端子と接続します(●26ページ)。

3 コンピュータ音声入力端子 (AUDIO) (ステレオ・ミニ)

パソコンの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカから音が出せます(●26,28ページ)。

本機のスピーカから出力される音声はモノラルのみです。

4 モニタ出力端子(MONITOR OUT) (ミニD-Sub 15ピン)

コンピュータ1映像入力端子(COMPUTER 1 IN)とコンピュータ2映像入力端子(COMPUTER 2 IN)のうち、投映されているほうの映像信号を出力します(●27ページ)。

5 音声出力端子(AUDIO OUT) (ステレオ・ミニ)

オーディオアンプと接続します。ヘッドホンは接続できません。

ここになにも接続しない場合は、内蔵スピーカからモノラルで出力されます。

オーディオケーブルのジャックが挿入されているときは、音声はミックスされずにセパレートで出力されます。

音声入力端子(AUDIO)のLだけに挿入している場合は左の音声だけ出力されます。

6 ビデオ映像入力端子(VIDEO IN) (RCA-フォノ)

ビデオデッキやDVDプレーヤなどの映像出力端子と接続します(●28, 29ページ)。

7 ビデオ音声入力端子(AUDIO) (RCA-フォノ)

本機のビデオ映像入力端子(VIDEO IN)に接続した機器の音声出力端子と接続します。

8 S-ビデオ映像入力端子(S-VIDEO IN) (ミニDIN-4ピン)

ビデオデッキやDVDプレーヤなどのS映像出力端子と接続します(●28, 29ページ)。

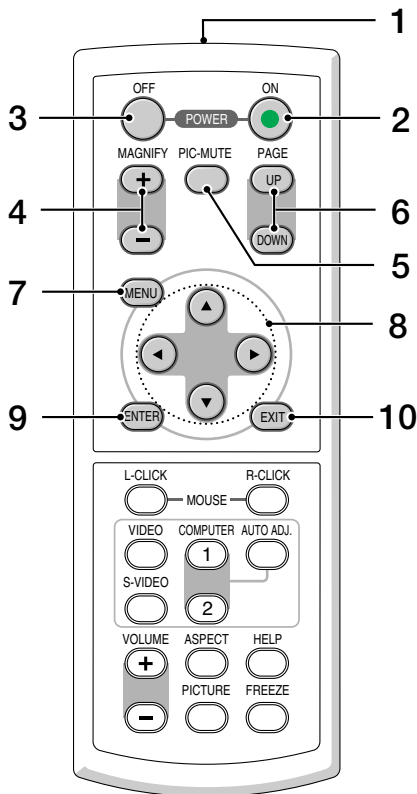
9 S-ビデオ音声入力端子(AUDIO) (RCA-フォノ)

本機のS-ビデオ映像入力端子(S-VIDEO IN)に接続した機器の音声出力端子と接続します。

10 PCコントロール端子 (PC CONTROL) (ミニDIN-8ピン)

使用しません。

1-4. リモコン各部の名称



1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 POWER (ON) ボタン

2秒以上押して、スタンバイ時 (POWERインジケータがオレンジ色に点灯) に本機の電源を入れます。

3 POWER (OFF) ボタン

一度押して電源オフ確認メッセージを表示してもう一度 (OFF) (または (ENTER)) ボタンを押すと、本機の電源が切れます (スタンバイ状態)。

4 (MAGNIFY +/-) ボタン

画面の拡大・縮小 (もとに戻す) をします (● 45ページ)。

5 (PIC-MUTE) ボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。

6 (PAGE UP/DOWN) ボタン

パソコンの操作をするボタンです (● 47ページ)。画面のスクロールや、PowerPointの画面切り替えなどに使用します。

7 (MENU) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

8 (SELECT ▼▲▶▶) ボタン

オンスクリーンメニュー操作や (MAGNIFY +/-) ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使用します。また、パソコンにマウスレシーバを接続しているときは、パソコンのマウスとして動作します (● 46,47ページ)。

9 (ENTER) ボタン

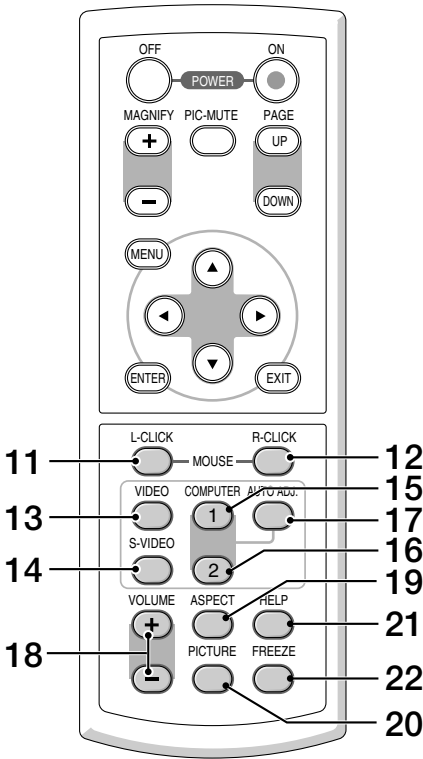
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

10 (EXIT) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

1

添付品や名称を確認する



11 (MOUSE L-CLICK) ボタン

パソコンの操作をするボタンです (46, 47ページ)。マウスの左ボタンの動作をします。

12 (MOUSE R-CLICK) ボタン

パソコンの操作をするボタンです (46, 47ページ)。マウスの右ボタンの動作をします。

13 (VIDEO) ボタン

ビデオ入力を選択します。

14 (S-VIDEO) ボタン

S-ビデオ入力を選択します。

15 (COMPUTER 1) ボタン

コンピュータ入力1を選択します。

16 (COMPUTER 2) ボタン

コンピュータ入力2を選択します。

17 (AUTO ADJ.) ボタン

映しているRGB信号の画像を最適な状態に自動調整します (40ページ)。

18 (VOLUME +/-) ボタン

内蔵スピーカの音量と音声出力端子 (AUDIO OUT) の音量を調整します。

19 (ASPECT) ボタン

アスペクト調整項目を表示します (59ページ)。

20 (PICTURE) ボタン

ボタンを押すたびに、壁色補正、ピクチャーマネージメント、明るさ、コントラスト、シャープネス、カラー、色相の映像調整項目を順に表示します (56,57ページ)。

21 (HELP) ボタン

情報画面を表示します (68ページ)。

22 (FREEZE) ボタン

表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります (44ページ)。

●電池の入れかた

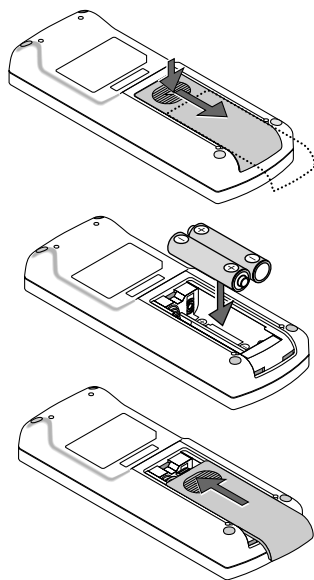
1 リモコン裏面の電池ケースのふたを押したまま手前に引き、上に持ち上げて外す。

2 ケース内部に印刷されている+、-の向きに合わせて単4乾電池をセットする。

3 もと通りにふたをする。

注意

- 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単4乾電池をお買い求めください。

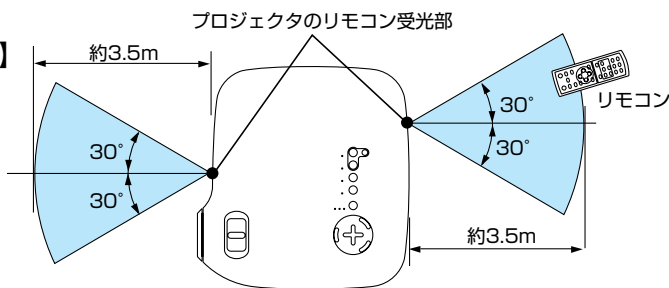


●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。およそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

リモコンをスクリーンに反射させて本体前面のリモコン受光部で受信することもできます。

【水平方向の受光範囲】



(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

●リモコンの使用上の注意

- ・ 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があると信号がさえざられていると動作しません。
- ・ 本体から約3.5m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- ・ リモコンを落としたり、誤った取り扱いはいしないでください。
- ・ リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・ できるだけ熱や湿気の少ないところで使用してください。
- ・ 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。

第2章

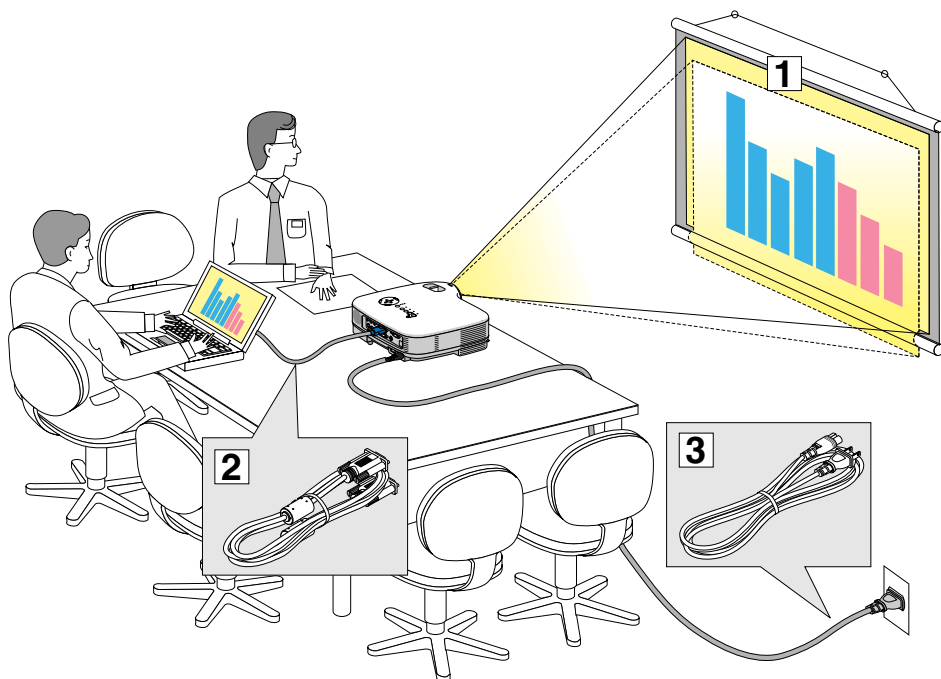
設置と接続

.....

2-1. 設置と接続の流れ	24
2-2. スクリーンとプロジェクタを設置する ...	25
2-3. パソコンと接続する	26
2-4. RGBモニタと接続する	27
2-5. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する ...	28
2-6. 書画カメラと接続する	29
2-7. 電源コードを接続する	30

2-1. 設置と接続の流れ

프로젝타を設置する場合は、次の流れで行います。



ステップ 1

スクリーンと 프로젝타を設置する (➡ 25ページ)



ステップ 2

パソコンやビデオデッキなどを 프로젝타に接続する

- ・パソコンと接続する場合 (➡ 26ページ)
- ・RGBモニターと接続する場合 (➡ 27ページ)
- ・DVDプレーヤーやビデオデッキなどのAV機器と接続する場合 (➡ 28ページ)
- ・書画カメラと接続する場合 (➡ 29ページ)



ステップ 3

電源コードを接続する (➡ 30ページ)

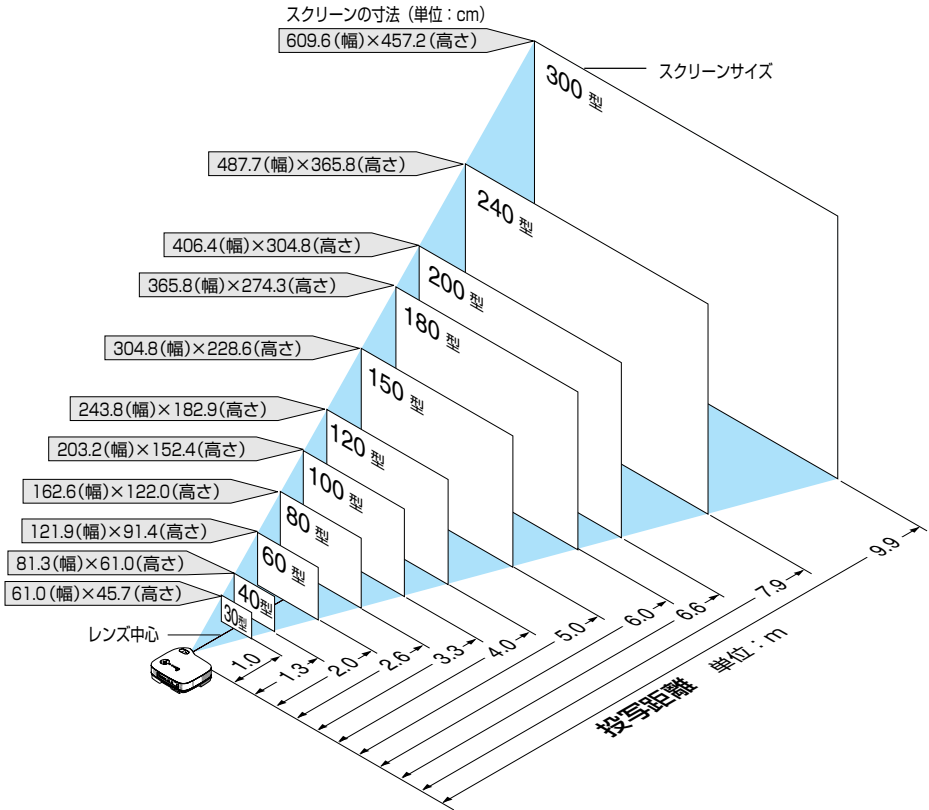
2-2. スクリーンとプロジェクタを設置する

下図を参照して、適切な画面サイズとなる位置にプロジェクタを設置してください。

画面サイズと投写距離

例1：100 型のスクリーンに投写する場合は、下図より3.3m 離して設置します。

例2：スクリーンから5m 離してプロジェクタを設置すると、下図より約150 型の画面となります。

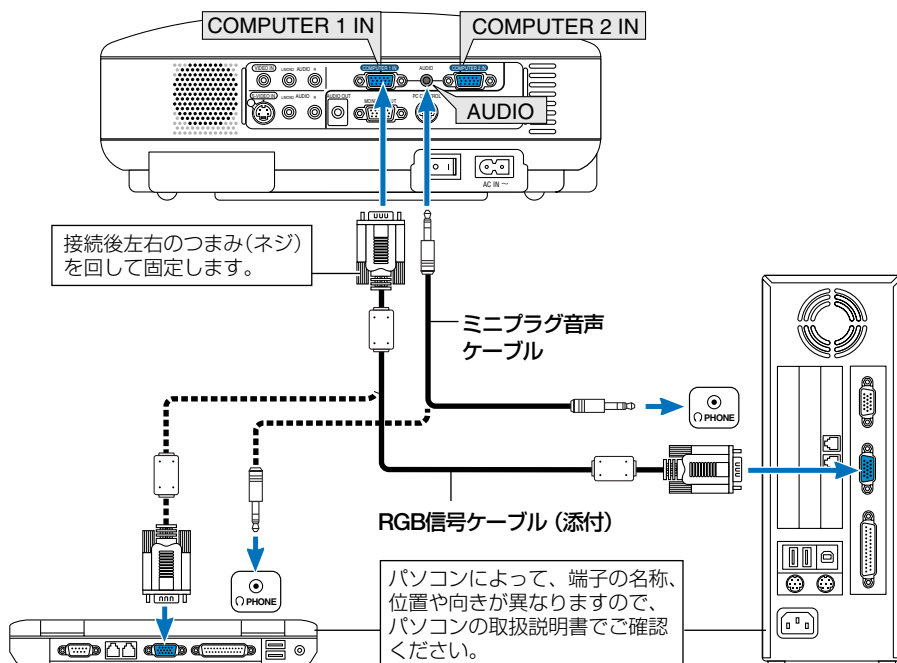


参考

- この図のスクリーン寸法は、ズームレバーをテレ (投写面積が最小) 側とワイド (投写面積が最大) 側の中央の位置にしたときの値です。
ズームレバーを操作すると、画面のサイズを約±10%の範囲で変更することができます。
なお、図の各寸法は、設計値のため実際の寸法と多少の誤差がありますので目安としてください。
- 投写距離と画面サイズについては、付録の「投写距離とスクリーンサイズ」をご覧ください。(P.88,89ページ)

2-3. パソコンと接続する

パソコン側のディスプレイ出力端子(ミニD-Sub15ピン)と、本機のコンピュータ映像入力端子(COMPUTER 1 INまたはCOMPUTER 2 IN)を、添付のRGB信号ケーブルで接続します。



注意

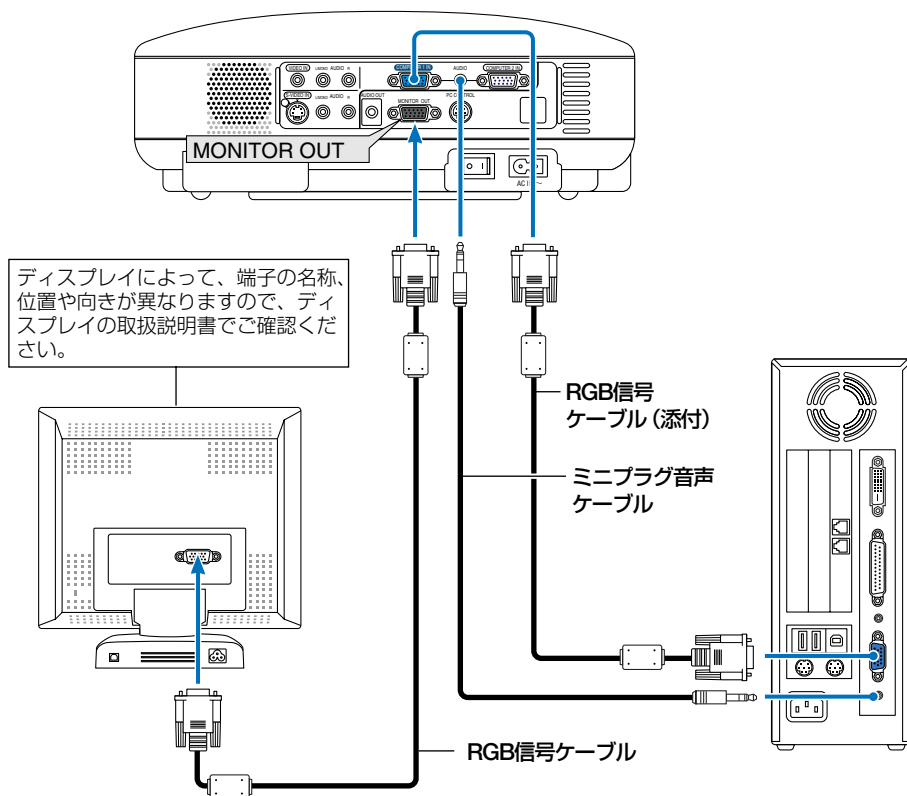
- パソコンや本機の電源を切ってから接続してください。
- COMPUTER 2 IN はプラグ・アンド・プレイに対応していないため、COMPUTER 1 IN に接続することをおすすめします。
- 音声ケーブルをヘッドフォン端子と接続する場合、接続する前にパソコンの音量を低めに調整してください。そして、パソコンと本機を接続して使用する際に、本機の音量とパソコンの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- パソコンにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。

参考

- コンピュータ映像入力端子(COMPUTER 1 IN)は、Windowsのプラグ・アンド・プレイに対応しています。
- パソコンと本機を離して使用する場合は、別売のプロジェクタ接続ケーブル(PJCBL102、長さ10m)を使用してください。

2-4. RGBモニタと接続する

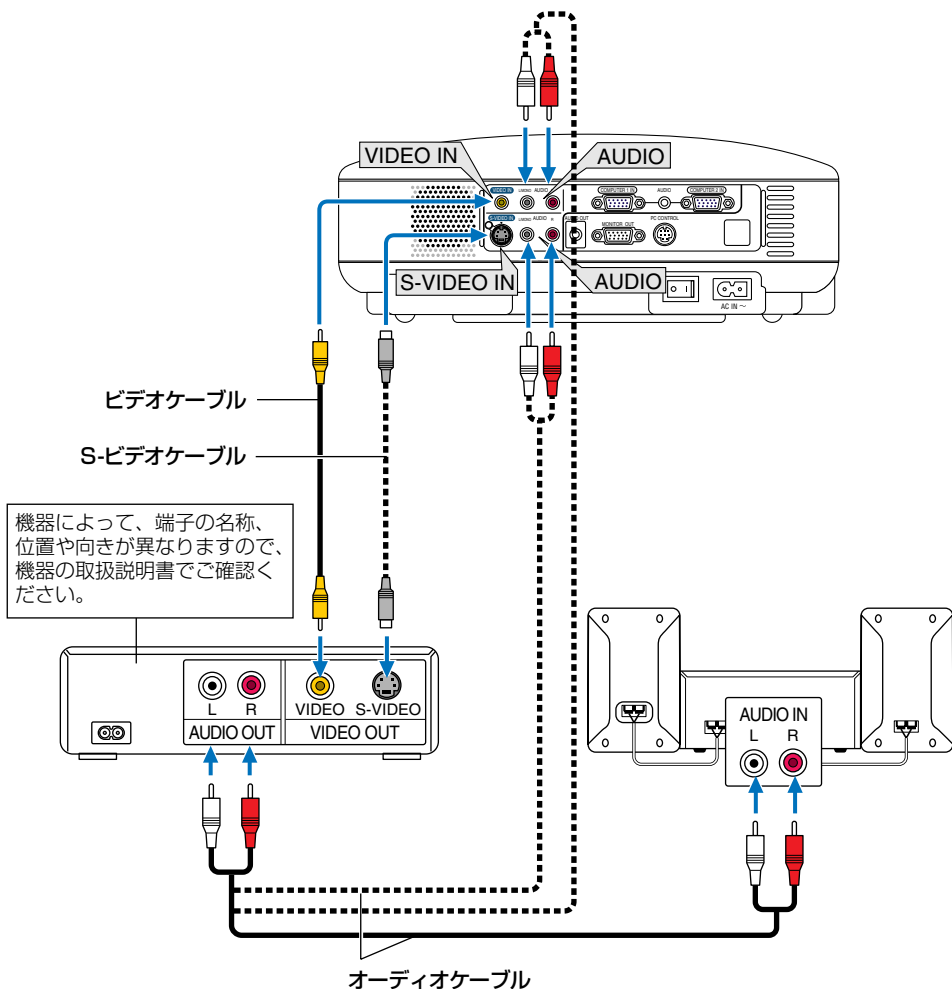
図のように、デスクトップパソコンと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示（モニタ）して確認できます。



- 本機のモニタ出力端子 (MONITOR OUT) は、1 台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。
複数のディスプレイやプロジェクタを連続してつなぐような使いかたはできません。

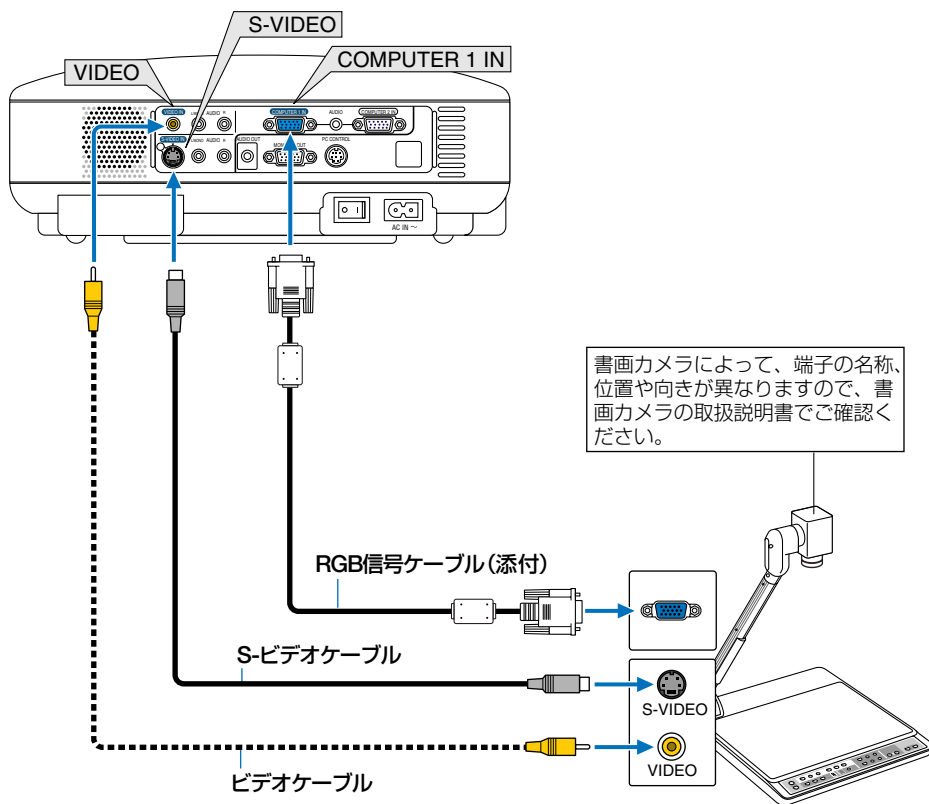
2-5. DVDプレーヤなどのAV機器と接続する

ビデオデッキ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を映す場合は、別途ケーブルをご用意ください。



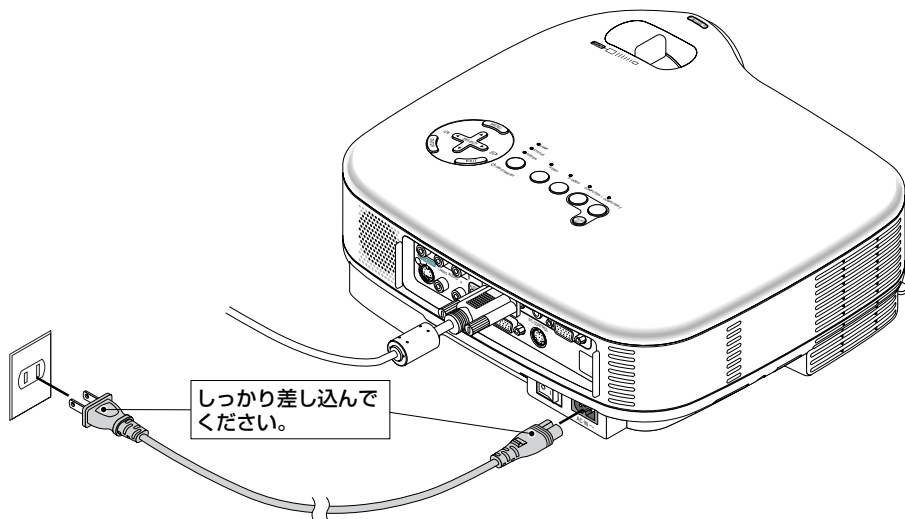
2-6. 書画カメラと接続する

本機に市販の書画カメラを接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。



2-7. 電源コードを接続する

本機のAC IN端子とAC100Vのコンセントを添付の電源コードで接続します。



注意

- 次のような場合は、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
故障の原因となります。
 - ・ 砂時計アイコンが表示されているとき
 - ・ 電源を切ったあとのファンの回転中（ファンは約30秒間回転します）

第3章

映像を投写する(基本操作)

.....

3-1. 映像を投写する流れ	32
3-2. 本機の電源を入れる	33
3-3. 入力信号を選択する	35
3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する ...	36
3-5. 台形歪みを手動で調整する	39
3-6. 映像を自動調整する	40
3-7. スピーカの音量を調整する	40
3-8. 本機の電源を切る	41
3-9. あとかたづけ	42

3-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1

本機の電源を入れる (➡ 33ページ)



ステップ 2

入力信号を選択する (➡ 35ページ)



ステップ 3

投写画面の位置と大きさを調整する (➡ 36ページ)



ステップ 4

映像や音声を調整する

- ・画質を調整する場合 (➡ 40ページ)
- ・スピーカの音量を調整する場合 (➡ 40ページ)



ステップ 5

プレゼンテーションを行う



ステップ 6

本機の電源を切る (➡ 41ページ)



ステップ 7

あとかたづけ (➡ 42ページ)

3-2. 本機の電源を入れる

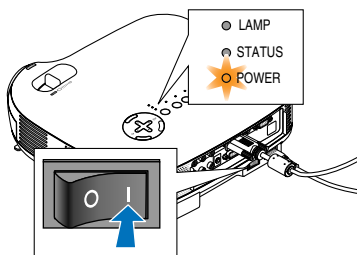
準備：「2 設置と接続」(23ページ)を参照のうえ、機器の接続を行ってください。

重要

- 本機の電源コードの取り付け、取り外しは、主電源スイッチが「○ (切)」の状態で行ってください。
主電源スイッチが「Ⅰ (入)」の状態では電源コードの取り付け、取り外しを行うと、故障の原因となります。
- 本機の電源の入/切は、「主電源スイッチ」と「POWER (ON/STAND BY) ボタン (リモコンはPOWER (ON) (OFF) ボタン)」の2段階の操作で行います。
- 電源を入れる (このページ)
 - 1 「主電源スイッチ」を「Ⅰ (入)」にする。
本機がスタンバイ状態になります。
 - 2 「POWER (ON/STAND BY) ボタン (リモコンはPOWER (ON) ボタン)」を2秒以上押す。
本機の電源が入ります。
- 電源を切る (41ページ)
 - 1 「POWER (ON/STAND BY) ボタン (リモコンはPOWER (OFF) ボタン)」を一度押して電源オフ確認メッセージを表示して、もう一度同じボタンまたは (ENTER) ボタンを押す。
本機がスタンバイ状態になります。
 - 2 ファンの回転が終わったら、「主電源スイッチ」を「○ (切)」にする。
本機の電源が切れます。

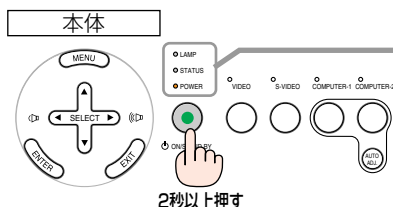
1 主電源スイッチを「Ⅰ (入)」にする。

本機のPOWERインジケータがオレンジ色で点灯します (スタンバイ状態)。



2 POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。

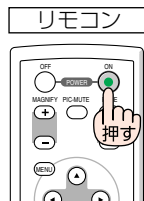
本機の電源が入り、しばらくしてスクリーンに映像が表示され始めます。



スタンバイ状態	準備中	オン状態
LAMP STATUS POWER (オレンジ点灯)	LAMP STATUS POWER (緑点滅)	LAMP STATUS POWER (緑点灯)

インジケータが上記以外の点滅をしているときは、86ページをご覧ください。

- ・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを2秒以上押します。
- ・信号が入力されていないときは、青い画面（ブルーバック：工場出荷状態）が表示されます。

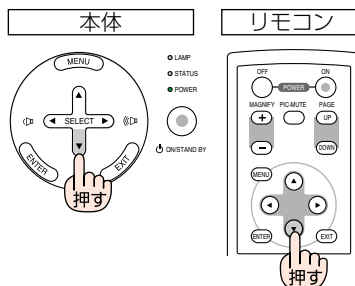


- ・ご購入後はじめて電源を入れたときは「Menu Language Select (言語選択)」画面が表示されます。次のように操作して「日本語」を選択してください。

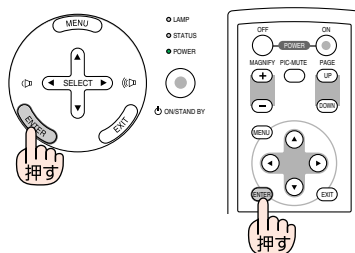
なお、映像がぼやけている場合は、フォーカスリングを回して画面のピントを合わせてください（▶38ページ）。

Menu Language Select	
Please select a menu language.	English
Wählen Sie bitte die Menü Sprache aus.	Deutsch
S'il vous plaît choisir la langue de menu.	Français
Per favore di scegliere la lingua di menu.	Italiano
Escoja por favor el idioma de menú.	Español
Valj menyn språken.	Svenska
メニュー言語を選択してください。	日本語
请选择菜单语言。	中文
Select "UP", "DOWN" & "ENTER"	

- ① (SELECT ▼) ボタンを押して、黄色のカーソルを「日本語」に合わせる。



- ② (ENTER) ボタンを押す。
画面が消え、オンスクリーンメニューの表示が日本語に設定されます。



注意

- ・本機の電源が入っている間は、レンズからレンズキャップを外しておいてください。高温になりレンズキャップが変形する場合があります。
- ・次のような場合は、POWER (ON/STAND BY) ボタンを押しても電源が入りません。
 - ・内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
 - ・ランプの寿命がきた場合は電源が入りません。ランプを交換してください。
 - ・電源を入れてもランプが点灯せず、STATUSインジケータが点滅（6回周期の点滅）している場合は、60秒以上待って再度電源を入れてください。
- ・POWERインジケータ点滅中は電源を切ることができません。
- ・電源を入れたとき、ランプが安定して点灯するまで（3～5分）映像がちらつく場合があります。これはランプの特性上発生するもので故障ではありません。
- ・ランプの消灯直後に電源を入れたときやランプの温度が高いときは、ファンのみが動作後、しばらくたってからスクリーンに映像が投写されます。

3-3. 入力信号を選択する

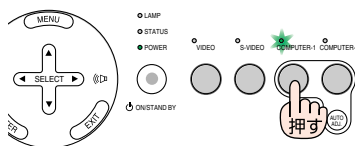
● 本体の操作ボタンで選択する

1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

2 VIDEO、S-VIDEO、COMPUTER 1、COMPUTER 2 ボタンを押す。

選択したボタン上のインジケータが緑色に点灯します。



3

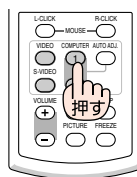
映像を投写する(基本操作)

● リモコンを使って選択する

1 本機に接続しているパソコンやビデオデッキなどの電源を入れる。

ビデオデッキなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。

2 リモコンの VIDEO、S-VIDEO、COMPUTER 1、COMPUTER 2 ボタンを押す。

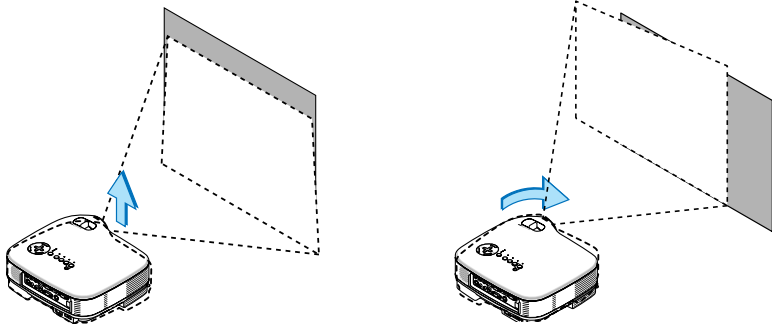


- 入力信号がないときは、青い画面 (ブルーバック：工場出荷状態) が表示されます。ビデオデッキやDVDプレーヤなどは再生 (PLAY) 操作をしてください。
- パソコンの画面がうまく投写できない場合は、84ページを参照してください。

3-4. 投写画面の位置と大きさを調整する

チルトフットやズームレバー、フォーカスリングなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

投写角度（投写画面の高低）と左右の傾きの調整【チルトフット】



投写画面の台形歪み補正【自動台形補正】

The diagram illustrates the automatic trapezoidal distortion correction. On the left, a projector is shown projecting a trapezoidal screen. A blue dotted arrow points to the right, where the same projector is shown projecting a rectangular screen, indicating the correction of the trapezoidal distortion.

投写画面の大きさの微調整【ズームレバー】

The diagram illustrates the fine adjustment of the projection screen's size using the zoom lever. A projector is shown projecting a screen with the text "ABC". The screen is slightly tilted and has a soft shadow, indicating it is not yet in focus.

投写画面のピント合わせ【フォーカスリング】

The diagram illustrates the focusing of the projection screen using the focus ring. A projector is shown projecting a screen with the text "ABC". The screen is sharp and clear, indicating it is in focus.

※ ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

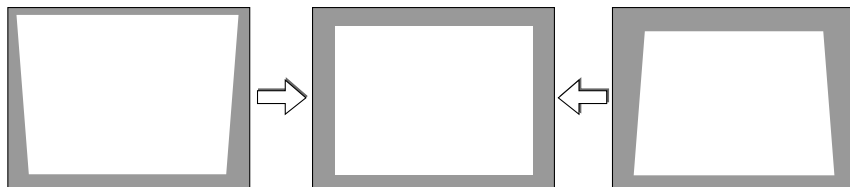
36

● 投写角度の調整と自動台形補正

● 自動台形補正

通常、投写画面は、スクリーンに対して垂直に投写されないと、台形の歪みが生じます。このため、投写角度を調整すると、上下方向に傾きが生じ、画面が歪むことになります。

しかし、本機の場合は、本体の上下の傾きを感知して、画面の歪みを自動的に補正します。これを「自動台形補正」と呼びます。



自動台形補正が正しく機能するように設置の際は、以下の点をご確認ください。

- ・自動台形補正は、上下約30°の傾きにまで対応します。
- ・自動台形補正は、投写中、投写角度を固定してから約2秒後に行われます。
- ・左右の傾き（水平方向の画面の歪み）には、対応していません。

プロジェクタのレンズ面が、スクリーンに平行になるように設置してください。

また、チルトフットは左右の高さが水平になるように調整してください。



- スクリーンが傾いていたり、室温が極端に高温または低温のとき、またレンズのズームを最大または最小にしているときは、自動台形補正できちんと調整できない場合があります。
- 入力信号の種類およびアスペクトの設定によっては補正角度が少なくなる場合があります。
- [自動台形補正]は電気的な補正を行っているため、画質が劣化する場合があります。



- 自動台形補正を行いたくない場合は、オンスクリーンメニューの[画像設定]→[自動台形補正]で「手動」に設定します（58ページ）。
「手動」に設定した場合、[画像設定]→[台形補正]で手動による台形歪み補正が行えます（39ページ）。

3

映像を投写する（基本操作）

● 投写角度（投写画面の高低）と左右の傾きの調整（チルトフット）

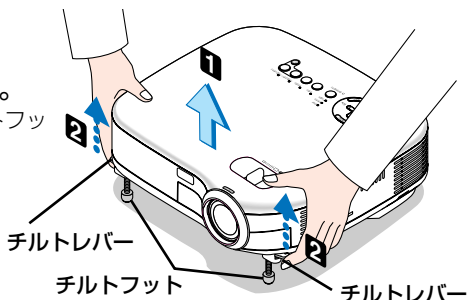
1 本機の前部を持ち上げる。

2 左右のチルトレバーを押し上げる。

チルトフットのロックが外れ、左右のチルトフットが伸縮します。



- 投写中は排気口付近が高温になる場合があります。
チルトフット調整の際はご注意ください。

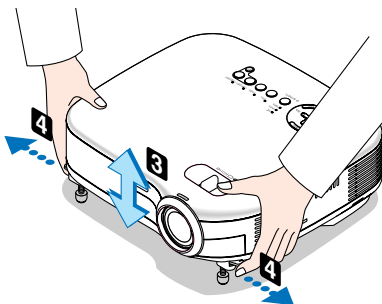


3 チルトレバーを押したまま、本機の投写角度および左右の傾きを調整する。

4 角度を固定したいところでチルトレバーから指を離す。

チルトフットがロックされ、投写角度が固定されます。

- チルトフットは、最大40mm伸ばすことができます。
- チルトフットにより、最大10° 本機を傾けることができます。

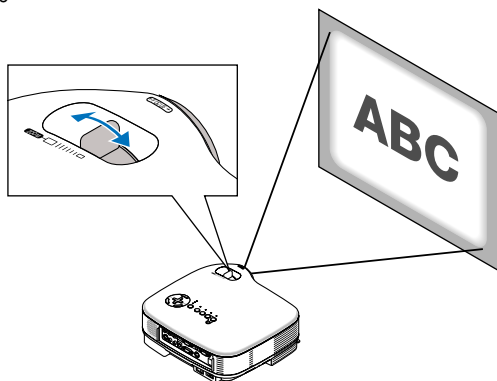


注意

- チルトフットは、本機の投写角度、および傾き調整以外の用途には使用しないでください。
チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

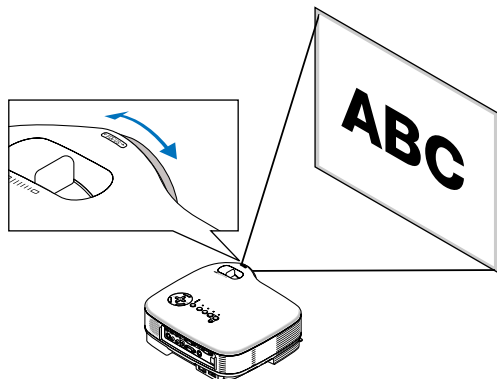
● 投写画面の大きさの微調整

1 ズームレバーを左右に動かす。



● 投写画面のピント合わせ

1 フォーカスリングを回す。



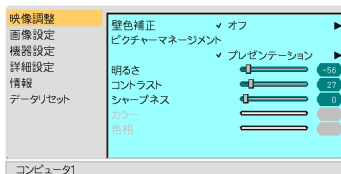
3-5. 台形歪みを手動で調整する

自動台形補正を行わないときは、オンスクリーンメニューから手動で調整します。

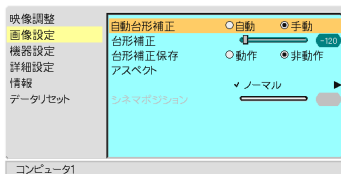
1 (MENU) ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが表示されます。

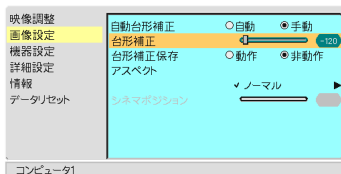
2 (SELECT ▼) ボタンを押して、カーソルを[画像設定]に合わせ、(ENTER) ボタンを押す。



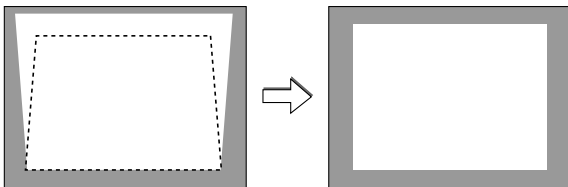
3 [自動台形補正]にカーソルがあることを確認し、(SELECT ◀/▶) ボタンを押して[手動]を選択する。



4 (SELECT ▼) ボタンを押して、カーソルを[台形補正]に合わせる。



5 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して、画面の左右が垂直になるように調整する。



6 調整が終わったら、(MENU) ボタンを押して、オンスクリーンメニューを閉じる。

注意

- [台形補正]は電氣的な補正を行っているため、画質が劣化する場合があります。

参考

- 手動で調整した値は、[台形補正保存]で保存しておくことができます(▶ 58ページ)。

3

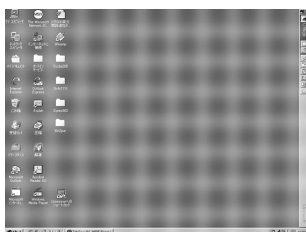
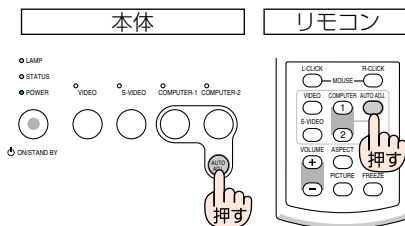
映像を投写する(基本操作)

3-6. 映像を自動調整する

パソコンの画面を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

1 [AUTO ADJ.] ボタンを押す。

[砂時計] アイコンが表示され、しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】

参考

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、手動で画面の調整を行ってください(●66ページ)。
- パソコンの画面がうまく投写できない場合は、84ページを参照してください。

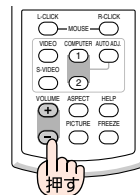
3-7. スピーカの音量を調整する

本機の内蔵スピーカの音量を調整します。

1 リモコンの [VOLUME +/-] ボタンを押す。

+側…音量が大きくなります。

-側…音量が小さくなります。

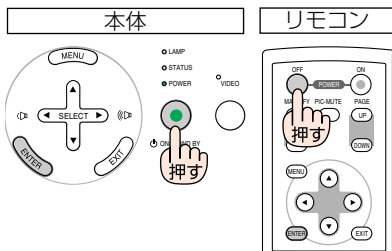


参考

- 画面に本機のオンスクリーンメニューが表示されていないときは、本体の [SELECT ◀▶] ボタンでも音量を調整できます。

3-8. 本機の電源を切る

1 POWER (ON/STAND BY) ボタンを押す。



- ・リモコンで操作する場合は、POWER (OFF) ボタンを押します。
- 電源オフ確認メッセージが表示されます。

電源をOffしますよろしいですか？

はい

いいえ

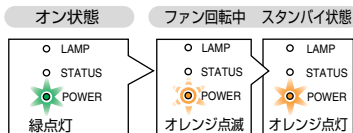
注意

- 電源を入れてスクリーンに映像が投写されてからの約60秒間は、電源を切ることができません。

2 (ENTER) ボタンを押す。

電源が切れPOWERインジケータがオレンジ色に変わります (スタンバイ状態)。

- ・ (ENTER) ボタンの代わりに、(ON/STAND BY) ボタンまたは (OFF) ボタンを押しても、電源が切れます。
- ・ 電源を切らない場合は、(SELECT ◀▶) ボタンで「いいえ」を選んで (ENTER) ボタンを押します。

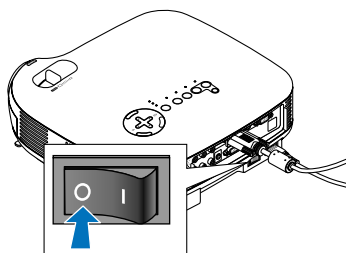


3

映像を投写する(基本操作)

3 主電源スイッチを「○ (切)」にする。

本機のPOWERインジケータが消え、主電源が切れます。



注意

- 次のような場合は、主電源スイッチを切ったり電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 機器が故障するおそれがあります。
- ・ 砂時計アイコンが表示されているとき
 - ・ 電源を切ったあとのファンの回転中 (ファンは約30秒間回転します)

3-9. あとかたづけ

準備：本機の主電源スイッチが「○（切）」になっていることを確認してください。

- 1** 電源コードを取り外す。
- 2** 各種信号ケーブルを取り外す。
- 3** チルトフットを伸ばしていたら、もとに戻す。
- 4** レンズにレンズキャップを取り付ける。
- 5** 本機、および添付品を、ソフトキャリングケースに収納する。



- 本機をソフトキャリングケースに収納するときは、チルトフットを縮めてください。チルトフットが伸びた状態で収納すると、故障の原因となります。

第4章

便利な機能

.....

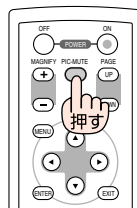
4-1. 映像と音声を消去する	44
4-2. 動画を静止画にする	44
4-3. 映像を拡大する	45
4-4. 本機のリモコンでパソコンの マウス操作を行う	46

4-1. 映像と音声を消去する

1 リモコンの (PIC-MUTE) ボタンを押す。

投写されている画像と、内蔵スピーカから出力されている音声が一時的に消えます。

- もう一度 (PIC-MUTE) ボタンを押すと、画像と音声が出ます。
- 音声出力端子 (AUDIO OUT) から出力されている音声も消えます。

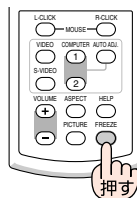


4-2. 動画を静止画にする

1 リモコンの (FREEZE) ボタンを押す。

ビデオの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- もう一度 (FREEZE) ボタンを押すと、動画に戻ります。



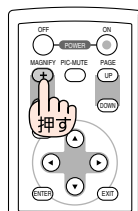
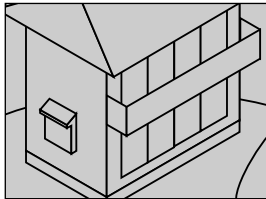
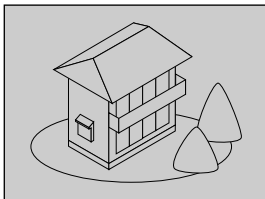
- (FREEZE) ボタンを押すと、押すときに投写されていた画像を静止画メモリに保存し、静止画メモリ内の画像 (静止画) を映します。静止画表示中、ビデオなどの映像再生は先に進行しています。

4-3. 映像を拡大する

1 (MAGNIFY+) ボタンを押す。

押すごとに画像が拡大します。

- はじめは、画面の中心部分が拡大されます。
- 最大4倍まで拡大できます。



2 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンを押す。

拡大した画像の表示領域が移動します。

3 (MAGNIFY-) ボタンを押す。

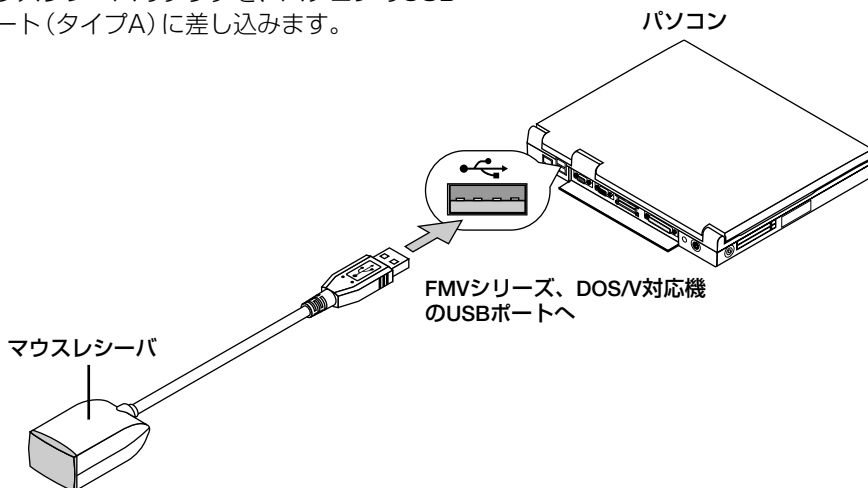
押すごとに画像が縮小します。

4-4. 本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行う

マウスレシーバをパソコンに接続すると、本機のリモコンでパソコンのマウス操作を行うことができます。

■マウスレシーバの接続

マウスレシーバのプラグを、パソコンのUSBポート(タイプA)に差し込みます。



注意

- Windows 2000/XP以外のOSでは使用できません。
また、Windows XPで使用する場合は、「マウスのプロパティ」内の「ポインタオプション」タブの「ポインタの精度を高める」のチェックボックスをオフに設定してください。
- パソコンのUSBポートからマウスレシーバのプラグを抜いて、再び差し込む場合は、抜いたあと5秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの抜き差しを行うと、パソコンが本機を正しく認識できないことがあります。

● リモコンを使ったパソコンのマウス操作

リモコンで以下のマウス操作ができます。

- ・ (PAGE UP/DOWN) ボタン …画面を上下にスクロールしたり、PowerPointの画面を切り替えます。
- ・ (SELECT ▼▲▶) ボタン ……マウスポインタを移動します。
- ・ (MOUSE L-CLICK) ボタン …マウスの左クリックの働きをします。
- ・ (MOUSE R-CLICK) ボタン …マウスの右クリックの働きをします。



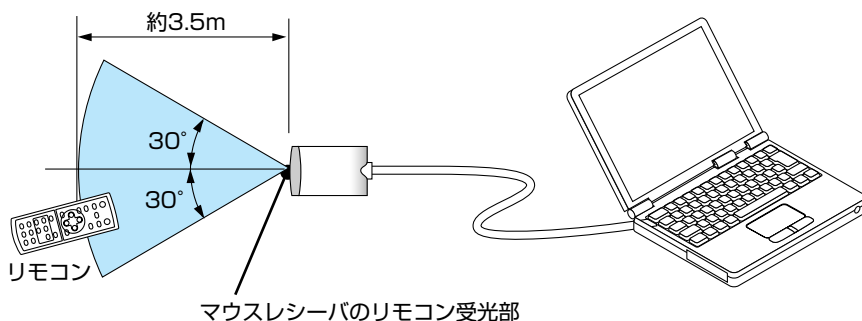
- 本機のオンスクリーンメニューを表示しているときに (SELECT ▼▲▶) ボタンでパソコンのマウス操作を行うと、メニューとマウスポインタの両方が動作します。オンスクリーンメニューを消した状態でマウス操作を行ってください。



- マウスポインタの動く速さは、Windowsの「マウスのプロパティ」で調節することができます。詳しくは、パソコンのオンラインヘルプが取扱説明書をご覧ください。

● リモコンの有効範囲

リモコン送信部をマウスレシーバのリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコン信号が受信できます。



第5章

オンスクリーンメニュー

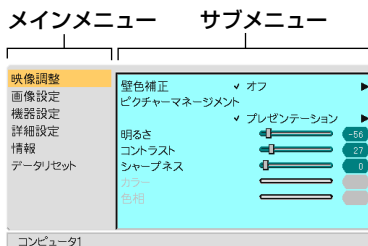
.....

5-1. オンスクリーンメニューの基本操作	50
5-2. オンスクリーンメニュー一覧	54
5-3. 映像調整	56
5-4. 画像設定	58
5-5. 機器設定	61
5-6. 詳細設定	63
5-7. 情報	68
5-8. データリセット	69

5-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する画像の画質調整や本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

メニューは、「メインメニュー」と「サブメニュー」から構成されています。



メニュー画面下部には、本機の状態を表すアイコン類が表示されます。



選択している入力信号を
表示します。

「電源オフタイマー」動作中に残り時間が表示され
ます (▶ 61ページ)。

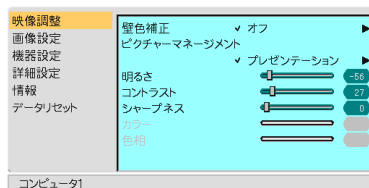
「強制エコモード」のとき表示されます (▶ 61ページ)。

「本体キーロック」動作中のとき表示されます (▶ 64ページ)。

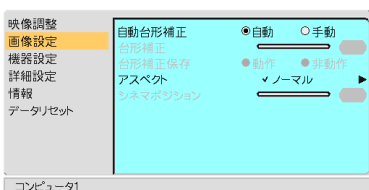
メニューを操作する

準備：本機の電源を入れて、スクリーンに画像を投写してください。

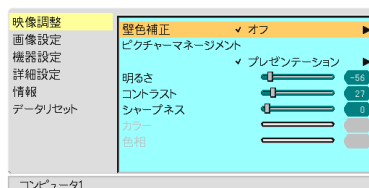
- 1** (MENU) ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。



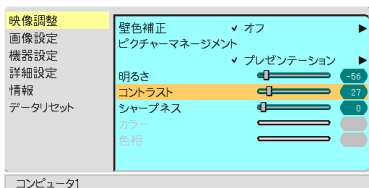
- 2** (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、メインメニューの設定したい項目にカーソルを合わせる。
サブメニューの表示も切り替わります。



- 3** (ENTER) ボタンを押す。
サブメニューにカーソルが表示されます。
・ここでは、[映像調整]を選んでみます。



- 4** (SELECT ▼/▲) ボタンを押して、サブメニューの設定したい項目にカーソルを合わせる。
・ここでは、[コントラスト]を選んでみます。



注意 ● 入力信号によって、選択できない項目があります (▶ 57ページ)。

- 5** (SELECT ◀/▶) ボタンを押して、コントラストを調整する。
・調整や設定の方法は、項目によって異なります。詳しくは、「項目の調整／設定方法」をご覧ください (▶ 52ページ)。

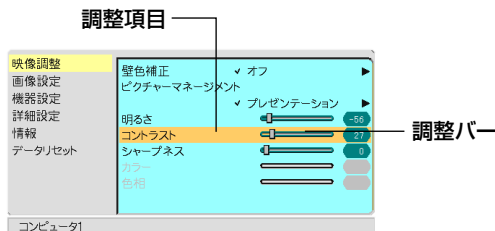
- 6** 他の項目も調整や設定をする場合は、手順 **4** **5** と同様に操作する。
・メインメニューに戻る場合は、(EXIT) ボタンを押します。

- 7** 調整が終わったら、(MENU) ボタンを押す。
メニュー画面が消えます。

注意 ● メニューを表示した状態で45秒間（工場出荷時の設定）操作しないと、メニューは自動的に消えます。その場合、(MENU) ボタンを押すと、消える前の状態のメニューが表示できます。
● メニューが自動的に消えるまでの時間は変更することができます (▶ 61ページ)。
● インターレース信号の動画を映しているときにメニューを表示すると、画面が乱れる場合があります。

● 項目の調整／設定方法

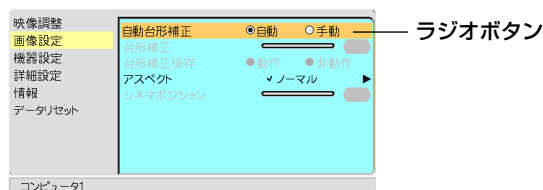
● 調整項目の場合



- 1 (SELECT ◀▶) ボタンを押して、調整する。

● ラジオボタンの選択

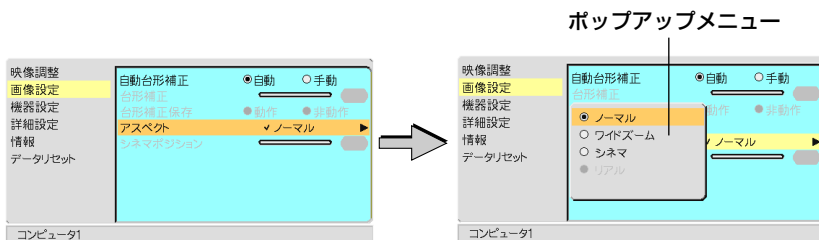
複数の選択肢から1つ「」を選びます。



- 1 (SELECT ◀▶) ボタンを押して、設定したい値に「」を移動する。

● ポップアップメニュー項目の場合

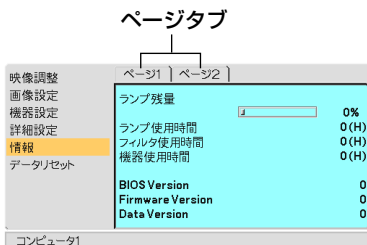
項目名の右側に「▶」が表示されている場合は、さらにポップアップメニューが表示されます。



- 1 (ENTER) ボタンを押す。
ポップアップメニューが表示されます。
- 2 ポップアップメニューの項目を調整／設定する。
- 3 (EXIT) ボタンを押す。
もとのメニューに戻ります。

●ページタブの場合

[情報] のサブメニューには、ページタブが表示されます。



1 (SELECT ◀/▶) ボタンを押して、ページを切り替える。

5-2. オンスクリーンメニュー一覧

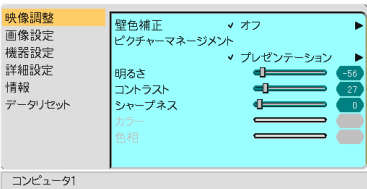
は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

カテゴリ	メニュー項目		選択項目	参照ページ	
映像調整	壁色補正		オフ／黒板／ライトイエロー／ライトグリーン／ ライトブルー／スカイブルー／ライトローズ／ピンク	56	
	ピクチャーマネージメント		プレゼンテーション／ビデオ／ムービー／ グラフィック／sRGB／ユーザー	56	
			ユーザー設定 参照（プレゼンテーション／ビデオ／ ムービー／グラフィック／sRGB）	57	
				ガンマ補正（ダイナミック／ソフト／ ナチュラル）	57
				明るさ 赤／緑／青	57
				コントラスト 赤／青／緑	57
	明るさ			57	
	コントラスト				
	シャープネス				
	カラー				
色相					
画像設定	自動台形補正	自動／手動		58	
	台形補正			58	
	台形補正保存	動作／非動作		58	
	アスペクト	ノーマル／ワイドズーム／シネマ／リアル		59	
	シネマポジション			60	
機器設定	電源オフタイマー		オフ／0:30／1:00／2:00／3:00／4:00／ 6:00／8:00	61	
	ランプモード		ノーマル／エコモード	61	
	表示言語	表示言語-1	English, Deutsch, Français, Italiano, Español, Português, Nederlands	61	
		表示言語-2	Svenska, Norsk, Suomi, Český, Magyar, Polski, Türkçe		
		表示言語-3	Русский , Ελληνικά , 日本語, 中文, 한국어 , عربي , Dansk		
	表示色		カラー／モノクロ	61	
	表示時間		手動／自動5秒／自動15秒／自動45秒	61	
	バックグラウンド		ブルーバック／ブラックバック／ロゴ	62	
	投写方法		デスク／フロント／天吊り／リア／デスク／リア／ 天吊り／フロント	62	
	ピープ音		動作／非動作	62	
詳細設定	セキュリティ		動作／非動作	63	
	本体キーロック		動作／非動作	64	
	ファンモード		高速／自動	65	

	信号選択	コンピュータ1＊	RGB/コンポーネント／RGB／コンポーネント／SCART	65
		コンピュータ2＊	RGB/コンポーネント／RGB／コンポーネント	
		ビデオ	自動判別／NTSC3.58／NTSC4.43／PAL／PAL-M／PAL-N／PAL60／SECAM	
		S-ビデオ	自動判別／NTSC3.58／NTSC4.43／PAL／PAL-M／PAL-N／PAL60／SECAM	
	ページ2	パワーマネージメント	動作／非動作	65
		ノイズリダクション	動作／非動作	66
		フリッカーリダクション	動作／非動作	66
		自動調整	オフ／ノーマル／ファイン	66
		水平		66
		垂直		67
		クロック周波数		67
		位相		67
		通信速度	4800／9600／19200	67
情報	ページ1	ランプ残量／ランプ使用時間／フィルタ使用時間／機器使用時間／バージョン（BIOS／Firmware／Data）	68	
	ページ2	信号番号／水平同期周波数／垂直同期周波数／同期極性／信号形式／ビデオ標準／同期形態／インターレース	68	
データリセット	データリセット（表示中の信号／全データ）		69	
	フィルタ時間クリア			
	ランプ時間クリア			

※「RGB/コンポーネント」または「RGB」を選択してください。
本機は「コンポーネント」および「SCART」には対応していません。

5-3. 映像調整



壁色補正

画像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。

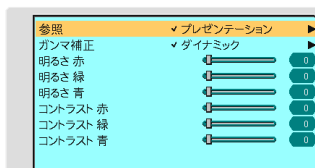
ピクチャーマネージメント

投写した映像に最適な設定を選択します。
鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。
また、お好みの色調およびガンマにするための細かな調整ができ、調整値をユーザーに登録できます。

プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。
ユーザー	お客様のお好みに調整した設定にします。 設定内容については「ユーザー設定（ユーザー選択時）」をご覧ください（57ページ）。

参考 ●「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、パソコンやモニタ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年にHewlett-Packard社とMicrosoft社が策定し、1999年にIECの国際規格となりました。

●ユーザー設定(ユーザー選択時)



[ピクチャーマネージメント]の[ユーザー]の調整値を登録します。
最初に、[参照]から調整のもととなるモードを選択し、ガンマ補正、明るさ、コントラストの項目について、調整を行います。

●ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ナチュラル	標準的な設定です。
ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

●明るさ 赤／緑／青

画像の黒色を調整します。

●コントラスト 赤／緑／青

画像の白色を調整します。

●明るさ／コントラスト／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかった映像にしたり、緑がかった映像にします。

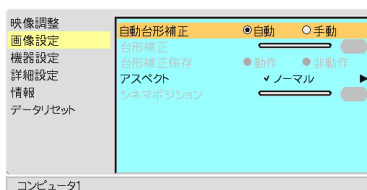


- 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

入力信号	明るさ	コントラスト	シャープネス	カラー	色相
RGB (コンピュータ)	○	○	○	×	×
ビデオ、S-ビデオ	○	○	○	○	○

(○：調整可、×：調整不可)

5-4. 画像設定



自動台形補正

自動台形補正 (▶ 37ページ) を行います。

自動	自動台形補正を行います。
手動	手動で台形補正を行います。

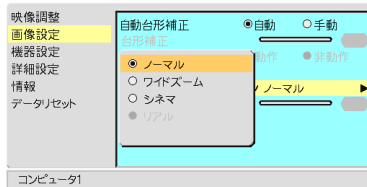
台形補正

[自動台形補正] が「手動」のとき、画面の台形の歪みを調整します (▶ 39ページ)。

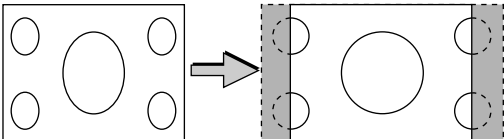
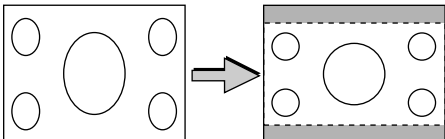
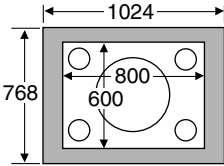
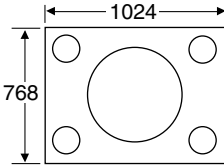
台形補正保存

[台形補正] で調整した調整値を保存します。電源を切っても調整値は失われません。

動作	本機の電源が切れる際に、本体内部のメモリに調整値を上書き保存します。
非動作	次に本機の電源を入れたときに、調整値を工場出荷状態に戻します。



画面の縦横の比率、およびRGB信号を投写するときの表示解像度を選択します。

ノーマル	通常の画面サイズです。4：3の入力信号を4：3の画面サイズで映します。
ワイドズーム	16：9のスクイーズ信号入力時、左右に引き伸ばして4：3の画面サイズで映します。そのため、左右の両端は表示されません。  スクイーズ
シネマ	16：9のスクイーズ信号入力時、垂直方向を圧縮して16：9の画面サイズで映します。  スクイーズ なお、[シネマポジション] で表示領域の垂直位置を調整できます (➡ 60ページ)。
リアル	RGB信号を入力機器の解像度のまま投写します。 [リアル] 以外を選択している場合、RGB信号は本機の解像度 (1024×768ドット) に自動的に拡大／縮小して投写します。 例：入力信号が800×600ドットの場合 [リアル] の場合  [リアル] 以外の場合  注意 - 次のような場合は [リアル] を選択できません。 - RGB以外の信号を選択しているとき - 本機の解像度以上の信号を入力しているとき

注意

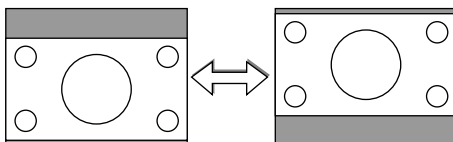
- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、[アスペクト]の画面サイズ切り替え機能を使って画面の圧縮や引き伸ばしを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがあります。

参考

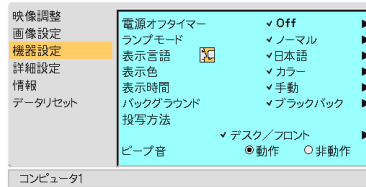
- ビデオ映像の標準アスペクト比4：3より横長の映像を、「レターボックス」と呼びます。
映画フィルムのビスタサイズ1.85：1やシネマスコープ2.35：1のアスペクト比があります。
- アスペクト比16：9の映像を横方向にスクイーズ（圧縮）して4：3にした映像を、「スクイーズ」と呼びます。
- 「リアル」を選択した場合でも、本機の表示画素数より上の解像度（1280×1024など）の信号を表示した場合は、本機の表示画素数に縮小して表示します。
- 「リアル」以外を選択した場合は、画面を拡大・縮小しています。
パソコンの出力信号のドット数とプロジェクタの液晶パネルのドット数が一致しない場合（例：パソコン出力が1280×1024ドット、プロジェクタが1024×768ドット）や拡大表示する場合に、デジタル補間技術を用いて、より見やすい状態で解像度を変換し表示します。
従来方式では、単純に間引いたり二度書きしているだけだったので、表の罫線が数本完全に消えてしまう、斜め線がギザギザになってしまうなど見づらい場合がありますが、デジタル補間技術により、そのような点が解消、軽減されました。

シネマポジション

[アスペクト]で[シネマ]を選択しているとき、表示領域の垂直位置を調整します。



5-5. 機器設定



電源オフタイマー

電源オフタイマーを設定しておくことで、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイモードになります）。

ランプモード

小さいスクリーンサイズで映して画面が明るすぎるときや、暗い室内で映す場合、ランプモードを「エコモード」にし、ランプ寿命を延ばすことができます。

ノーマル	ランプの輝度が100%になります。明るい画面になります。
エコモード	ランプの輝度が約80%になります。ランプ寿命が延びます。



- ノーマルモードで使用时、室温が高いなどの理由により本機内部の温度が上昇すると、一時的にエコモードに切り替わることがあります。これは、本機の保護機能の一つで「強制エコモード」と呼びます。
強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、メニュー画面の右下に「」アイコンが表示されます。このとき、[ランプモード]の変更はできません。
室温を下げたり、[ファンモード]（ 65ページ）を「高速」に設定したりすることにより、本機内部の温度が下がると、強制エコモードは解除され、ノーマルモードに戻ります。

表示言語

メニューに表示される言語を選択します。



- 表示言語は、[データリセット]を行っても変更されません。

表示色

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動で閉じる時間を選択します。

バックグラウンド

入力信号が無いときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青色
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景にFujitsuロゴを表示



- 長時間ロゴを表示し続けると、ロゴの絵柄が残像として残る場合がありますので、長時間入力信号のない場合は、電源をお切りください。

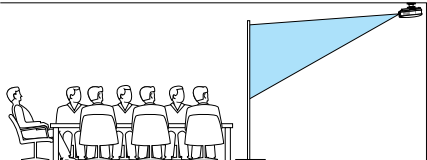
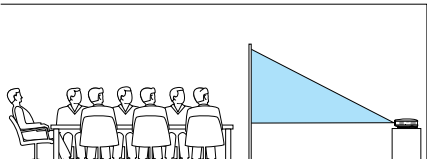
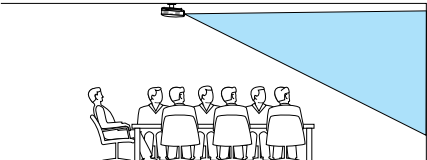
投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。



警告

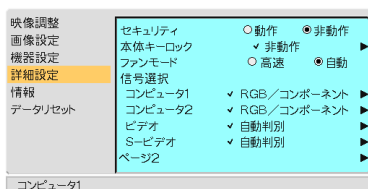
天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはご購入元にご相談ください。
お客様ご自身による設置は絶対にしないでください。
落下してけがの原因となります。

デスク／フロント	テーブルに設置してスクリーンの前面から投写 
天吊り／リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写 
デスク／リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写 
天吊り／フロント	天井に設置してスクリーンの前面から投写 

ビープ音

電源のオン／オフや入力切り替えなどの操作をしたとき、また本機にエラーが発生したときなどに確認音を鳴らします。

5-6. 詳細設定



セキュリティ

キーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにキーワード入力画面が表示され、正しいキーワードを入力しなければ映像は投写されません。

動作	キーワードを設定してセキュリティを有効にします。
非動作	セキュリティを無効にします。



●セキュリティは、[データリセット]では解除されません。

●セキュリティを有効にする

- 1 (SELECT ▼/▲) ボタンで [セキュリティ] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンで「動作」を選択する。
キーワード登録画面が表示されます。



- 2 (SELECT ▼▲◀▶) ボタンの組み合わせでキーワードを設定し、(ENTER) ボタンを押す。
キーワードは4文字以上10文字以下で設定してください。



●キーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

キーワードの再入力画面が表示されます。

- 3 2で設定したキーワードを再入力し、(ENTER) ボタンを押す。
確認画面が表示されます。
- 4 (SELECT ◀/▶) ボタンで [はい] を選択し、(ENTER) ボタンを押す。
セキュリティが有効になります。

●セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

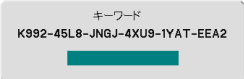
- 1 主電源スイッチを「I (入)」にして、POWER (ON/STAND BY) ボタンを2秒以上押す。
 - ・リモコンで操作する場合は、POWER (ON) ボタンを2秒以上押します。本機の電源が入り、セキュリティロック中のメッセージが表示されます。
- 2 (MENU) ボタンを押す。
キーワード入力画面が表示されます。
- 3 キーワードを入力する。
セキュリティロックが解除され、選択している信号が投写されます。

注意

- セキュリティロックの解除状態は、主電源をオフする（主電源スイッチを「O (切)」にするか、電源コードを抜く）まで保持されます。

●セキュリティを無効にする

- 1 (SELECT ▼/▲) ボタンで [セキュリティ] にカーソルを合わせ、(SELECT ◀/▶) ボタンで「非動作」を選択する。
キーワード登録画面が表示されます。



- 2 キーワードを入力し、(ENTER) ボタンを押す。
セキュリティが無効になります。

参考

- キーワードを忘れたときの対処
キーワードを忘れてしまった場合の復旧作業は、引き取り修理とさせていただきます。
引き取り修理については、「お問い合わせ先」(85ページ) へお問い合わせください。

●本体キーロック

プロジェクタ本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

動作	本体操作部のボタンがきかなくなります。
非動作	本体操作部のボタンが働きます。

注意

- 本体操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。
- 本体操作ボタンがロックされているときに、本体の(EXIT) ボタンを約10秒間押すと、ロックが解除されます（本体キーロックの設定が無効になります）。

参考

- 本体キーロック中は、メニュー画面右下に「」アイコンが表示されます。

ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンを、常に高速で回転させます。

高速	常に高速で回転します。
自動	本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。



- 長時間にわたり連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。

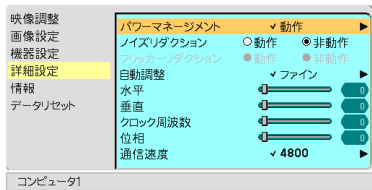
信号選択

コンピュータ映像入力端子 (COMPUTER 1 INまたはCOMPUTER 2 IN)、ビデオ映像入力端子 (VIDEO IN)、S-ビデオ映像入力端子 (S-VIDEO IN) の信号モードの選択を行います。

自動判別ができないときは、本機に接続している出力機器の信号モードに合わせてください。

コンピュータ 1 コンピュータ 2	「RGB/コンポーネント」または「RGB」を選択してください。 本機は、「コンポーネント」および「SCART」に対応していません。
ビデオ／S-ビデオ	NTSCやPALなど、国によってテレビジョンの映像信号方式が異なります。 ビデオ映像入力端子 (VIDEO IN) およびS-ビデオ映像入力端子 (S-VIDEO IN) の入力信号の設定ができます。

ページ2



パワーマネージメント

5分以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態にします。

動作	自動的にスタンバイ状態になります。
非動作	パワーマネージメント機能は働きません。

ノイズリダクション

RGB信号の映像のざらつきやジッター（文字などの微妙な揺れ）を低減させます。工場出荷状態は、あらかじめ信号ごとに適した状態に設定されています。信号によって、映像のざらつきやジッターが気になる場合に設定します。

フリッカーリダクション

ビデオやDVDなどインターレース信号の映像のちらつきを低減させます。



注意

- 動画信号によっては、映像にギザギザが目立つ場合があります。このようなときは「非動作」に設定してください。
- HDTV、RGB信号のときは選択できません。
- 接続する機器によっては、選択できない場合があります。

自動調整

RGB信号の表示位置と画素のずれの調整を自動で行うか、手動で行うかを設定します。

オフ	表示位置と画素のずれを手動で調整できます（▶ 66,67ページ）。
ノーマル	表示位置と画素調整を自動で行います。通常の設定です。
ファイン	細かい自動調整を行います。「ノーマル」設定時よりも調整に時間がかかります。

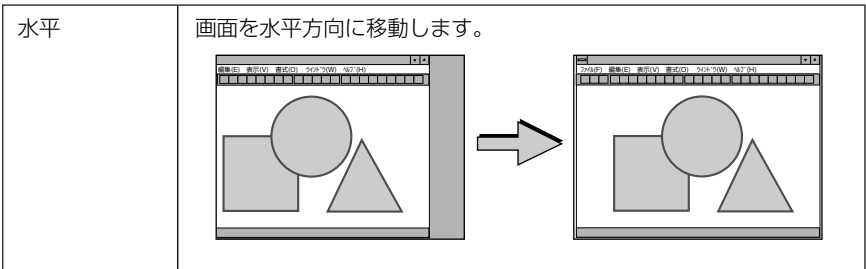


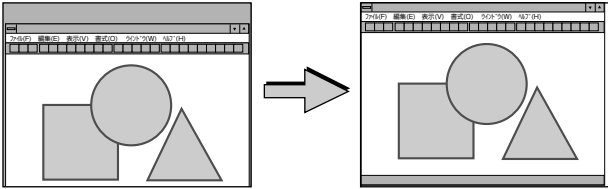
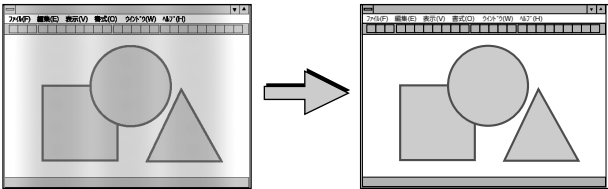
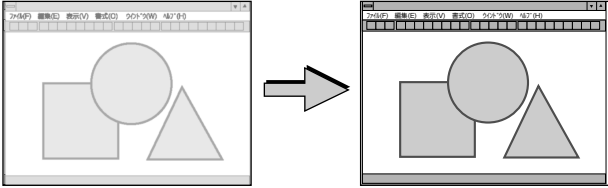
注意

- 画像によっては、自動で行くと正しく調整できない場合や、信号を切り替えたとき調整までに時間がかかる場合があります。このようなときは手動で調整を行ってください。
- 「自動調整」を「ノーマル」または「ファイン」に設定したときは、水平／垂直／クロック周波数／位相の調整はできません。

水平／垂直／クロック周波数／位相

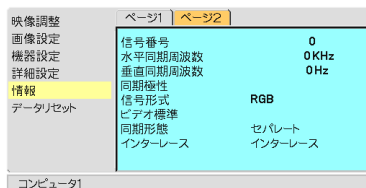
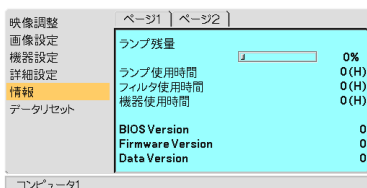
「自動調整」が「オフ」のとき、RGB信号の表示位置と画素のずれの調整を手動で行います。



垂直	画面を垂直方向に移動します。 
クロック周波数	画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。 
位相	画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。 

通信速度
使用しません。

5-7. 情報



入力選択されている入力信号の詳細、ランプ使用時間、本機の使用時間を表示します。

- ページ1は、ランプの寿命時間や本機のファームウェアのバージョンなどの確認に使います。ページ2は、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が映らない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」(90ページ)もあわせてご覧ください。



● ランプ残量／ランプ使用時間の表示について

本機にはエコモード機能があります。ノーマルモードとエコモードではランプの寿命が異なります。

[ランプ使用時間] はランプの通算使用時間を示し、[ランプ残量] はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。

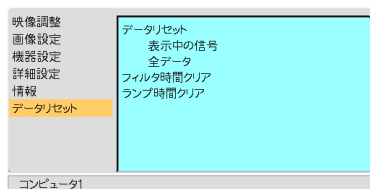
- 0%になると画面上に「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます(メッセージは、投写中も表示され続けます)。

新しいランプと交換してください。交換のしかたは「6-4.ランプとフィルタの交換」(75ページ)をご覧ください。

- ランプ寿命に到達(ランプ残量0%)後、[ランプ残量]表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、[ランプ残量]表示は「100 (H)」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そして[ランプ残量]表示が「0 (H)」になると、本機の電源が入らなくなります。
- ランプの使用時間が指定の寿命時間内であっても、ランプの個体差或使用条件により、ランプが破裂または不点灯状態に至ることがあります。指定の使用時間内に使用できなくなった場合でも、ランプは保証の対象外となります

	ランプ使用時間		ランプ残量
	ノーマルモードのみ 使用(最小)	エコモードのみ 使用(最大)	
工場出荷時	0000時間		100%
ランプ寿命	2000時間	3000時間	0%

5-8. データリセット



データリセット

本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

データリセットの処理には多少時間がかかります。

●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場設定値になります。

【リセットされるデータ】

[明るさ]・[コントラスト]・[シャープネス]・[カラー]・[色相]・[ノイズリダクション]・[ピクチャーマネージメント]・[アスペクト]・[水平]・[垂直]・[クロック周波数]・[位相]

●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態になります。

【リセットされないデータ】

[表示言語]・[セキュリティ]・[通信速度]・[ランプ残量]・[ランプ使用時間]・[フィルタ使用時間]・[機器使用時間]

フィルタ時間クリア

フィルタの清掃または交換を行ったときに[フィルタ使用時間]をクリアします。



- フィルタ使用時間は、[データリセット]ではクリアされません。

ランプ時間クリア

ランプ交換を行ったときに[ランプ残量]と[ランプ使用時間]をクリアします。



- ランプ時間は、[データリセット]ではクリアされません。

第6章

本体のお手入れ／ランプの交換

.....

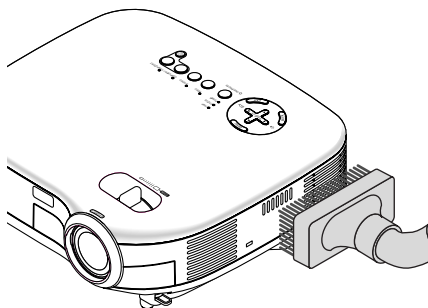
- 6-1. フィルタの清掃..... 72
- 6-2. レンズの清掃 73
- 6-3. キャビネットの清掃 74
- 6-4. ランプとフィルタの交換 75

6-1. フィルタの清掃

吸気口のフィルタはプロジェクタ内部をほこりや汚れから守っています。フィルタにほこりがたまると、空気のとおりが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。設置場所にもよりますが100時間を目安に掃除をしてください。

1 フィルタを掃除する。

フィルタは本体右側面に1個あります。
電源を切り電源プラグをコンセントから抜きます。
掃除機にブラシ付きのアダプタを取り付け、吸気口越しにフィルタの清掃を行ってください（フィルタカバーを外す必要はありません）。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。

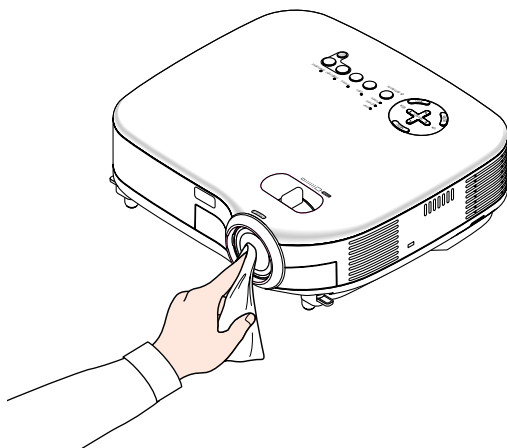


2 フィルタ使用時間をクリアする。

電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。
メニューの[データリセット]の「フィルタ時間クリア」を選択してください(● 69ページ)。

6-2. レンズの清掃

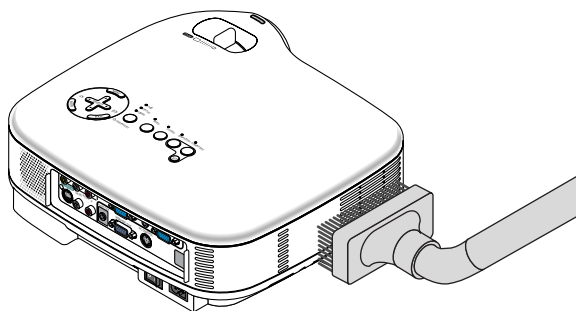
市販のカメラ用クリーニングペーパーを使って、レンズを軽く拭いてください。その際レンズを傷つけないようにご注意ください。



6-3. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ない柔らかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんは使用しないでください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



側面、背面の通気孔とスピーカ部のほこりを吸い取ります。

- 通風孔にほこりがたまると、空気のとおりが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。設置環境にもよりますが100時間を目安に掃除をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。

注意

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

6-4. ランプとフィルタの交換

光源に使われているランプの使用時間が2000時間（ノーマルモードのみ使用時）を超えるとLAMPインジケータが赤く点滅し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」が画面上に表示されます。

この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。

なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ寿命が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安は68ページをご覧ください。

- 交換用ランプは富士通コワーコにてお求めください（お問い合わせ先 ➡ 92ページ）。
- 交換用ランプにはフィルタが添付されていますので、ランプを交換したあとにフィルタも交換してください。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- ランプハウスには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。
また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となる可能性が高くなります。ランプが破裂すると、破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、ご購入元、または故障・修理に関するお問い合わせ先（「お問い合わせ先」 ➡ 85ページ）に交換を依頼してください。
- 本機を天吊りで設置した状態でランプ交換を行う場合は、本機の下部に人が入らないように注意してください。ランプが破裂している場合に、ランプの破片が飛散するおそれがあります。
- ランプ寿命に到達後100時間を超えて使用すると、LAMPインジケータが赤く点灯するとともにスタンバイ状態になり電源が入らなくなります。



警告

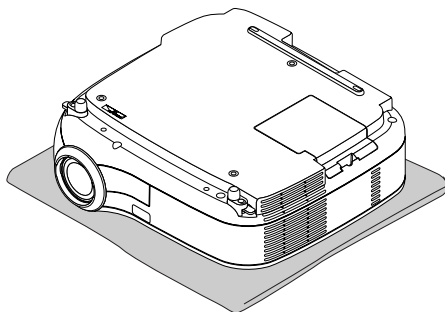
ランプの交換は、電源を切り約30秒間待って、冷却ファン停止後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

ランプの交換

準備：プラスドライバーを用意します。

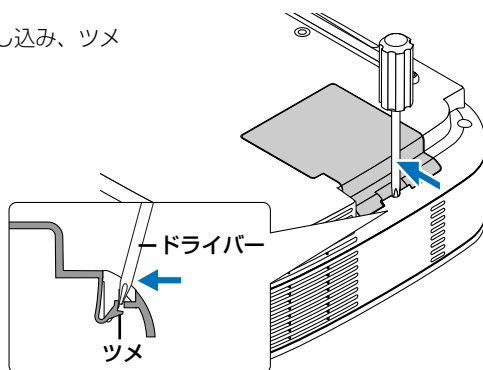
1 本機を裏返しにする。

傷つかないように、やわらかい布などを敷いた上に静かに置いてください。

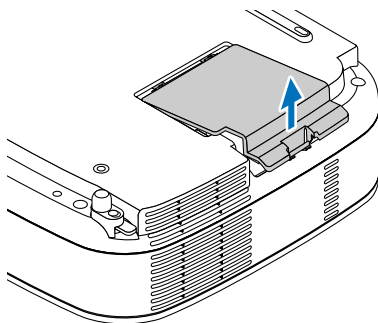


2 ランプカバーを外す。

① ドライバーをランプカバーの穴に差し込み、ツメを押す。



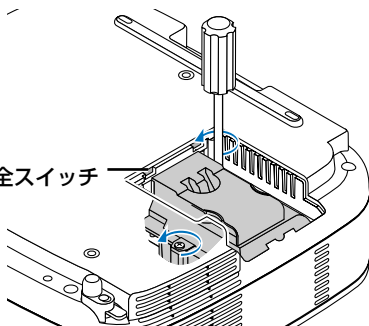
② ランプカバーを上へ持ち上げて外す。



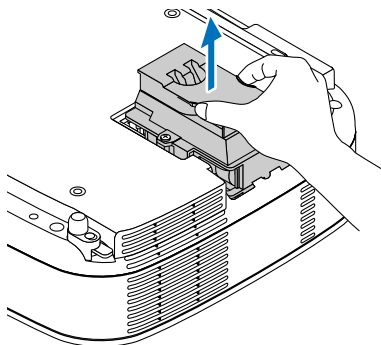
3 ランプハウスを外す。

- ① ランプハウス固定のネジ (2箇所) を左に空転するまでゆるめる。
 - ・ ネジは外れません。
 - ・ 本機には安全スイッチが付いています。安全スイッチには触れないでください。

安全スイッチ

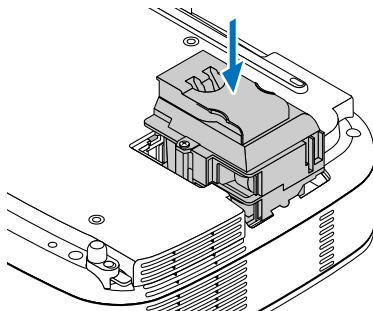


- ② ランプハウスのつまみを指で挟んで持ち上げる。

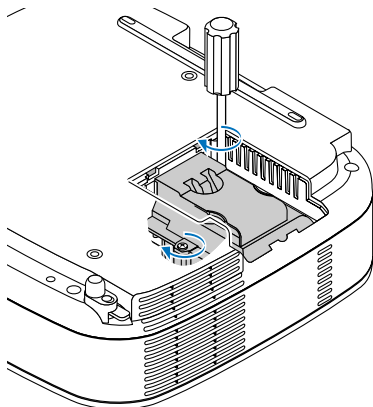


4 新しいランプハウスを取り付ける。

- ① ランプハウスを静かに入れる。



- ② ランプハウス固定のネジ (2箇所) を右に回してしめる。
 - ・ ネジは確実にしめてください。

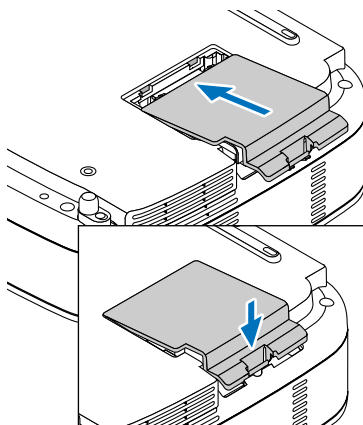


5 ランプカバーを取り付ける。

① ランプカバーのツメを本体のガイドに入れる。

② ランプカバーを閉める。

- ・「カチッ」と音がしてランプカバーが固定されるまで押します。



6 本機を元の状態に戻し、電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる。

7 ランプ残量とランプ使用時間をクリアする。

メニューの[データリセット]の[ランプ時間クリア]を選択してください(▶ 69ページ)。

これで、ランプ交換が終わりました。



- ランプ寿命(ノーマルモードのみ使用時2000時間)に到達後100時間を超えて使用すると、電源が入らなくなります。その場合は、スタンバイ状態でリモコンの(Help) ボタンを10秒以上押し続けることで、ランプ残量とランプ使用時間をクリアできます。

クリアされたかどうかは、LAMPインジケータが消灯することで確認できます。

フィルタの交換

重要

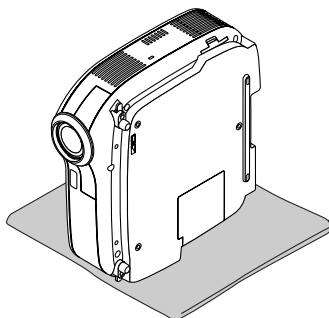
- フィルタを交換するときは、プロジェクタ本体のほこりをよくふき取ってから行ってください。
- プロジェクタは精密機器ですので、内部にほこりが入らないようにご注意ください。
- フィルタは水洗いしないでください。目づまりの原因となります。

準備：先にランプの交換を行ってください。（▶ 76ページ）

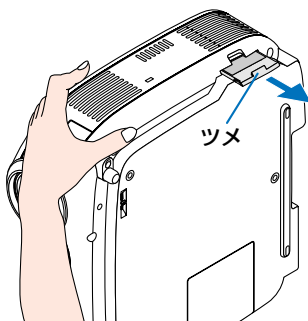
1 フィルタ部分が上になるよう、本体左側面を下にして本体を立てる。

傷を付けないように、柔らかい布などを敷いた上に静かに立ててください。

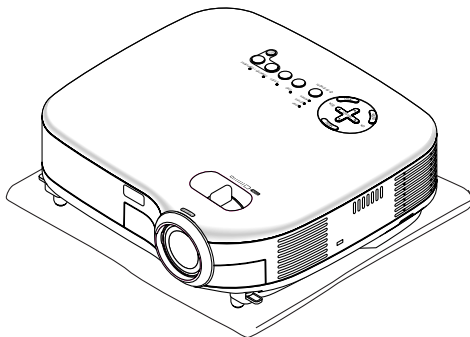
また、本体が倒れないよう手でしっかりと固定してください。



2 ツメに指をかけ、矢印の方向にフィルタカバーを引き抜いて外す。

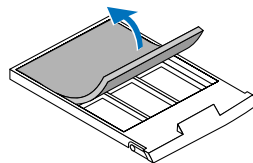


3 本体を水平位置に戻す。



4 フィルタを交換する。

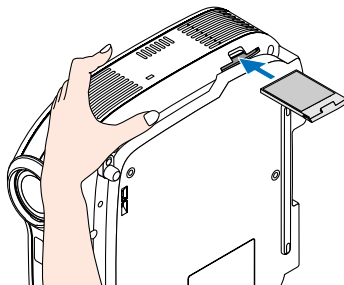
- ① フィルタを外して、フィルタカバーを清掃する。
- ② 新しいフィルタの両面テープをはがし、フィルタカバーに取り付ける。



5 もう一度、本体左側面を下にして本体を立てる。

6 フィルタカバーを取り付ける。

- ・「カチッ」と音がしてフィルタカバーが固定されるまで差し込みます。



7 本体を水平位置に戻す。

8 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。

9 フィルタ使用時間をクリアする。

メニューの[データリセット]の「フィルタ時間クリア」を選択してください(➡ 69ページ)。

第7章

付録

.....

故障かな？と思ったら	82
お問い合わせ先	85
リサイクルについて	85
インジケータ表示一覧	86
投写距離とスクリーンサイズ	88
対応解像度一覧	90
外観図	91
関連商品一覧	92
コンピュータ映像入力端子のピン配列と信号名 ...	92
仕様	93
トラブルチェックシート	94
索引	96

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、故障・修理に関するお問い合わせ先（「お問い合わせ先」📍85ページ）にご相談ください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	30ページ
	主電源スイッチは「I（入）」になっていますか。	33ページ
	本体キーロック中ではありませんか。 本体キーロック中は、本体の操作ボタンはロックされて効きませんが、リモコンを使えば操作できます。	64ページ
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	77ページ
	ランプ寿命を超えて使用していませんか。 新しいランプと交換してください。交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの（HELP）ボタンを10秒以上押し続けてください。 本機内部で管理しているランプ時間の値がクリアされ電源が入るようになります。	68ページ
	内部温度が高くなっていますか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	87ページ
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューの「パワーマネジメント」を「動作」にしていますか。	65ページ
映像が出ない／色が正しくない	接続している入力を選んでいますか。 本体またはリモコンの入力信号選択ボタンを再度押してください。	35ページ
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	26～29ページ
	〔映像調整〕の明るさ、コントラストが最小になっていませんか。	57ページ
	RGB（コンピュータ）入力の場合、標準信号以外の信号が入力されていませんか。	90ページ
	RGB（コンピュータ）入力の場合、画面調整を正しく行っていますか。	40ページ
	パソコンの画面がうまく投写できない場合は、88ページをご覧ください。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	54,55ページ
	それでも解決しない場合は、[データリセット]を行ってみてください。	69ページ
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたキーワードを入力しないと映像は投写されません。	63ページ

	ランプの消灯直後に電源を入れたときや、ランプの温度が高いときは、冷却のためにファンのみが回転し、映像が出るまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。	—
映像が歪む	正しく設置されていますか。	36ページ
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	37,39ページ
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	38ページ
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	36ページ
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	88,89ページ
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。	61ページ
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	RGB (コンピュータ) 入力の場合、水平位置、垂直位置を正しく調整しましたか。	66,67ページ
	RGB (コンピュータ) 入力の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 パソコンの解像度を確認してください。	90ページ
RGB (コンピュータ) 入力で文字がチラついたり色がずれている	メニューの「自動調整」を「ノーマル」または「ファイン」に設定してください。 「自動調整」を「オフ」に設定している場合は、「クロック周波数」と「位相」を調整してください。	66ページ
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	21ページ
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	21ページ
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。	21ページ
	リモコンの有効範囲 (3.5m) を超えていませんか。	21ページ
	本機のリモコンを使って、パソコンのマウス操作を行う場合は、添付のマウスレシーバをパソコンに接続してください。	46ページ
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	86ページ

●パソコンの画面がうまく投写できない場合

パソコンを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●パソコンの起動のタイミング

パソコンと本機を接続したあとにパソコンを起動してください。

特にノートパソコンの場合、接続してからパソコンを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

- 参考** ●本機のメニューを表示して、[情報]の[水平同期周波数]を確認してください。
水平同期周波数が表示されていないときは、パソコンから外部出力信号が出力されていません(▶ 68ページ)。

●パソコンの起動後に操作が必要な場合

ノートパソコンの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります(ノートパソコン自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません)。

- 参考** ●FMVシリーズは[Fn]キー + [F10]キー、DOS/V対応機(IBM PC/AT 100%互換機)の場合は[Fn]キー + [F1]～[F12]キーのいずれか(機種によって異なります)を押します。

●ノートパソコンの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートパソコンの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートパソコンの制限(パソコン自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない)によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートパソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする(液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い)操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

お問い合わせ先

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただくか、以下それぞれのお問い合わせ先にご相談ください。

●故障・修理に関するお問い合わせ先

法人のお客様	「富士通ハードウェア修理相談センター」 ・フリーダイヤル 0120-422-297 ・お問い合わせ時間 9:00～17:00（土曜、日曜、祝日および年末年始を除く）
個人のお客様	「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」 ・フリーダイヤル 0120-950-222 ・お問い合わせ時間 24時間・365日対応

●技術的なご質問、ご相談のお問い合わせ先

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

- ・フリーダイヤル **0120-950-222**
- ・お問い合わせ時間 9:00～17:00（土曜、日曜、祝日を除く）

- おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- 各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。
お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- システムメンテナンスのため、お問い合わせ時間であっても受け付けを休止させていただく場合があります。
- 本文中に記載されているお問い合わせ先やインターネットのURLアドレスは2006年4月現在のものであります。変更されている場合は、上記の「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

リサイクルについて

●本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

プロジェクトに使用のランプの中には水銀が含まれています。

・法人・企業のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物扱いとなりますので、産業廃棄物処分量の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。弊社は、「富士通りサイクルシステム」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますのでご利用ください。

詳しくは、ホームページ(<http://eco.fujitsu.com/jp/5g/products/recycleindex.html>)の「富士通りサイクルシステム」をご覧ください。

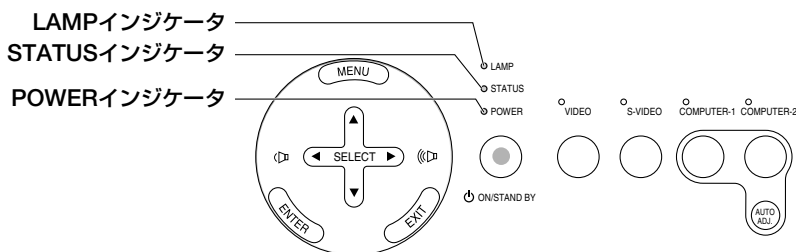
・個人のお客様へ

個人のお客様は、上記「富士通りサイクルシステム」をご利用いただけません。本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」までお申し込みください。

受付窓口の電話番号、お申し込みの方法などについてはAzbyClub ホームページ(<http://azby.fmworld.net/recycle/>)をご覧ください。

インジケータ表示一覧

本体操作部の3つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



●POWERインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		主電源オフ	—
点滅	緑色 (0.5秒点灯／0.5秒消灯)	電源オン準備中	しばらくお待ちください。
	緑色 (2.5秒点灯／0.5秒消灯)	電源オフタイマー動作中	—
	オレンジ色	本体冷却中	しばらくお待ちください。
点灯	緑色	電源オン状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態	—

●STATUSインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色 (1回周期)	カバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください(●78ページ)。
	赤色 (2回周期)	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください(●次のページ)。
	赤色 (4回周期)	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。ご購入元、または故障・修理に関するお問い合わせ先(「お問い合わせ先」●85ページ)へ修理を依頼してください。
	赤色 (6回周期)	ランプ不点灯	ランプが点灯しません。60秒以上待つて再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合はご購入元、または故障・修理に関するお問い合わせ先(「お問い合わせ先」●85ページ)にご相談ください。
	緑色	ランプ再点灯処理中	ランプ再点灯処理中(本体冷却中)です。しばらくお待ちください。
点灯	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります(●64ページ)。

●LAMPインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色	ランプ交換猶予時間中	ランプ残量が0%になり、ランプ交換の猶予時間（100時間）中です。すみやかにランプを交換してください（➡75ページ）。
点灯	赤色	ランプ使用時間超過	ランプ使用時間を超過しています。ランプを交換するまで本機の電源は入りません（➡75ページ）
	緑色	ランプエコモード	—

●温度プロテクタが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、STATUSインジケータが点滅します（2回点滅の繰り返し）。

このようなときは、以下のことを行ってください。

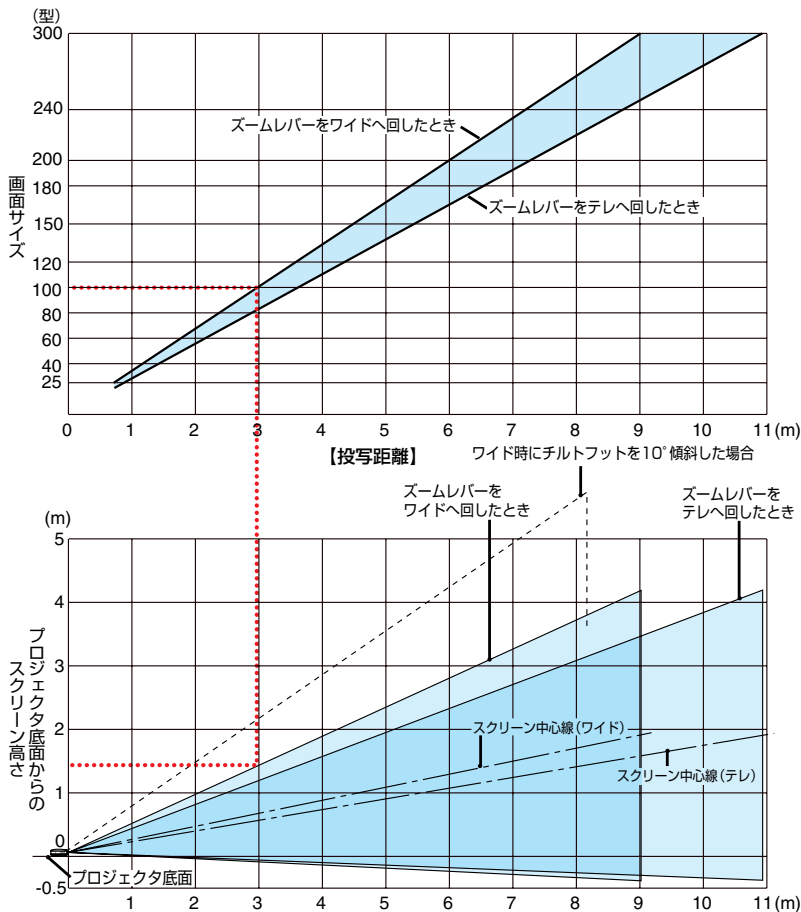
- ・ 冷却ファンの回転が終了したら、主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・ 通風孔にほこりがたまっていたら、掃除してください（➡74ページ）。
- ・ 本機内部の温度が下がるまで、約60分間そのままにしてください。

投写距離とスクリーンサイズ

この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで映すにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。

投写距離

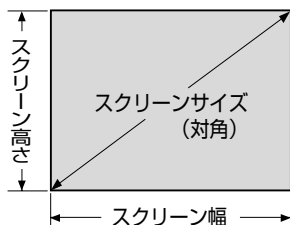
フォーカス(焦点)の合う投写距離は、レンズ前面から0.7m(21型の場合)～11.0m(300型の場合)です。この範囲で設置してください。



【表のみかた】

100型スクリーンにワイドで映すには表より、3m付近に設置することになります。また、下の表はプロジェクタ底面からスクリーンの上端までが約1.4m必要となりますので、プロジェクタを置いた台から天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。(図はプロジェクタを水平に調整したとき) チルトフットにより上へ最大約10° 上げることができます。

スクリーンサイズと寸法表



サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
21	42.7	32.0
25	50.8	38.1
30	61.0	45.7
40	81.3	61.0
60	121.9	91.4
80	162.6	122.0
100	203.2	152.4
120	243.8	182.9
150	304.8	228.6
180	365.8	274.3
200	406.4	304.8
240	487.7	365.8
300	609.6	457.2

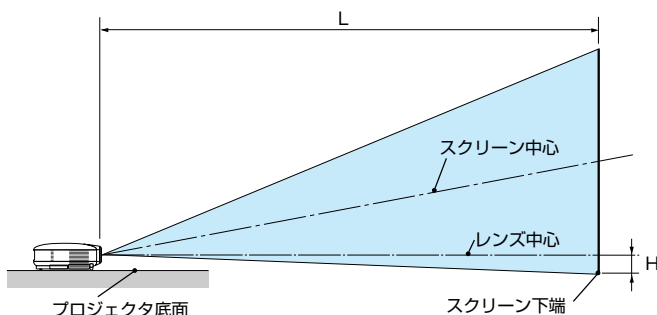
デスクトップの例

下の図はデスクトップで使用する時の例です。

水平投写位置……レンズを中心に左右均等

垂直投写位置……（下表参照）

スクリーン サイズ (型)	投写距離 L (m)		寸法 H (cm)
	ワイド時	テレ時	
21	—	0.73	3.0
25	0.72	0.87	4.0
30	0.87	1.06	5.0
40	1.17	1.42	6.0
60	1.77	2.15	9.0
80	2.37	2.88	12.0
100	2.97	3.60	16.0
120	3.58	4.33	19.0
150	4.48	5.42	23.0
180	5.38	6.52	28.0
200	5.98	7.24	31.0
240	7.19	8.70	37.0
300	8.99	10.88	47.0



● 設計値のため、±5%の誤差があります。

対応解像度一覧

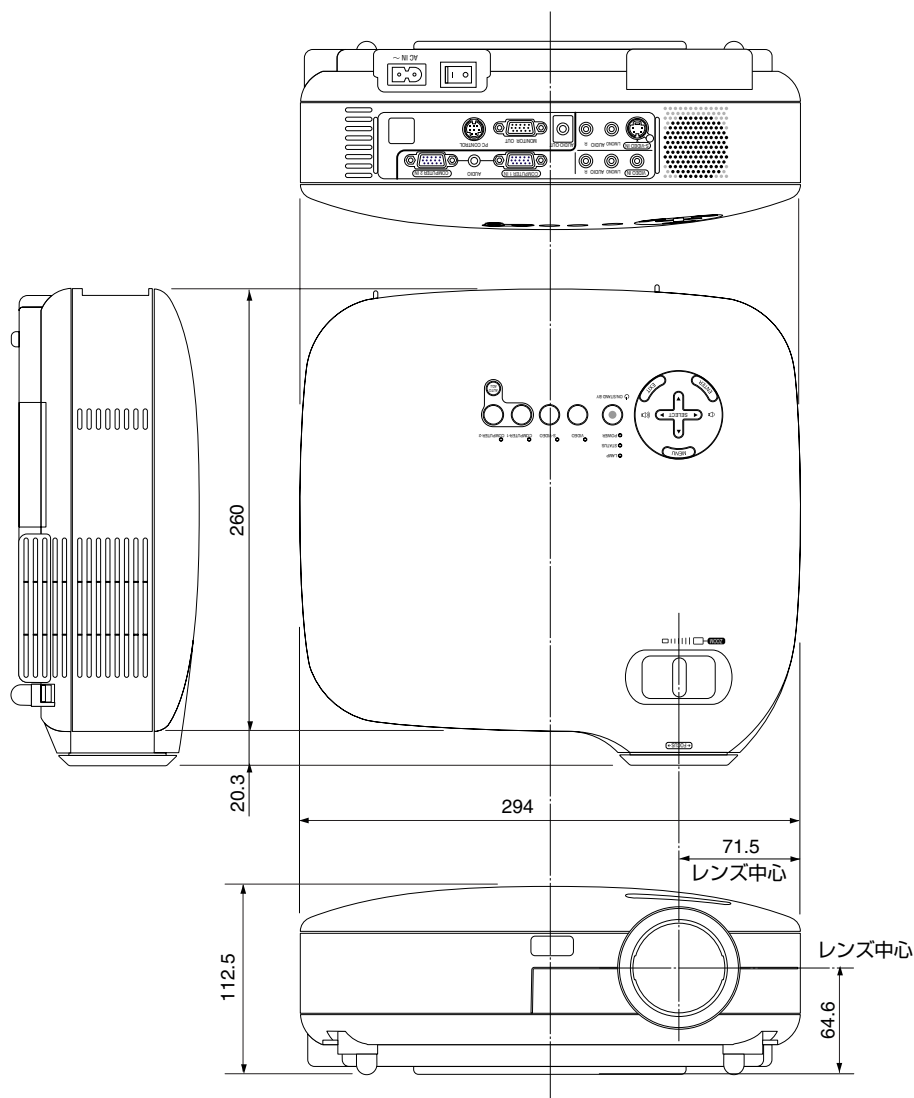
機種		解像度	走査周波数		対応状況
			水平 (kHz)	垂直 (Hz)	
ビデオ	NTSC/PAL60	—	15.734	60.0	◎
	PAL/SECAM	—	15.625	50.0	◎
FMVシリーズ IBM PC/AT互換機 DOS/V対応機		640 × 350	37.9	85.1	◎
		640 × 400	31.5	70.1	◎
		640 × 400	37.9	85.1	◎
		640 × 480	31.5	60.0	◎
		640 × 480	37.9	72.8	◎
		640 × 480	37.5	75.0	◎
		640 × 480	43.3	85.0	◎
		720 × 350	31.5	70.1	◎
		720 × 400	39.4	87.9	◎
		800 × 600	35.2	56.3	◎
		800 × 600	37.9	60.3	◎
		800 × 600	46.9	75.0	◎
		800 × 600	48.1	72.2	◎
		800 × 600	53.7	85.1	◎
		1024 × 768	48.4	60.0	◎
		1024 × 768	56.5	70.1	◎
		1024 × 768	60.0	75.0	◎
		1024 × 768	68.7	85.0	◎
		1152 × 864	67.5	75.0	○
		1280 × 960	60.0	60.0	○
		1280 × 960	85.9	85.0	○
		1280 × 1024	64.0	60.0	○
		1280 × 1024	80.0	75.0	○
		1280 × 1024	91.2	85.0	○
		1600 × 1200*	75.0	60.0	○
		1600 × 1200*	81.3	65.0	○
		1600 × 1200*	87.5	70.0	○
		1600 × 1200*	93.8	75.0	○

- ・出荷時はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、パソコンの種類によっては調整が必要な場合があります。
- ・コンポジット同期信号などの場合は、正常に表示できない場合があります。
- ・デジタル補間の場合、文字や野線の太さなどが不均一になる場合があります。

- * U-XGAはセパレート信号のみ対応です。
- ◎：リアル表示
- ：デジタル補間

外観図

単位：mm



関連商品一覧

オプション品

品 名	型 名	備 考
プロジェクタ接続ケーブル	PJCBL102	RGBケーブル (10m)
天吊り金具	PJX25-HG3	天吊りする場合にプロジェクタに装着する金具

サプライ品

商品名	商品番号	備考
PJ-X2510ランプユニット	0637370	PJ-X2510/PJ-X2511用交換ランプ

ランプユニットの取扱先は下記のとおりです。

富士通コワーコ株式会社

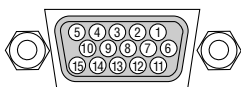
お客様総合センター **0120-505-279**

月曜日～金曜日 9時～17時30分（祝日・年末年始を除く）

<http://jp.fujitsu.com/coworco/>

コンピュータ映像入力端子のピン配列と信号名

各ピンの接続と信号レベル



信号レベル

ビデオ信号：0.7Vp-p（アナログ）

同期信号：TTLレベル

ピン番号	RGB信号（アナログ）	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接 地	
5	接 地	
6	赤 接 地	Cr 接 地
7	緑 接 地	Y 接 地
8	青 接 地	Cb 接 地
9	—	
10	同期信号 接 地	
11	—	
12	Bi-directional DATA (SDA)	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock*	

* コンピュータ1映像入力端子（COMPUTER 1 IN）のみ対応。

仕様

主要部品仕様	型名		PJ-X2511	
	方式		三原色液晶シャッタ投映方式	
	液晶パネル	サイズ	0.7型 MLA付き	
		画素数*1	786,432画素 (1024ドット×768ライン)	
	投写レンズ	ズーム	マニュアル (1～1.2倍、f=21.6～25.9mm)	
		フォーカス	マニュアル	
	光源	190W DCランプ (ランプエコモード時150W)		
光学装置		ダイクロイックミラーによる光分離・クロスダイクロプリズムによる合成方式		
画面サイズ (投写距離)		21～300型 (0.7～11m)		
色再現性		フルカラー1,677万色		
音声出力		1W モノラルスピーカ内蔵		
走査周波数	水平	15～100kHz (RGB入力は24kHz以上)		
	垂直	50～120Hz		
調整機能		マニュアルズーム マニュアルフォーカス、入力信号切替 (コンピュータ/ビデオ/S-ビデオ)、 画像自動調整、画面拡大、自動台形補正、画面位置調整、ミュート (映像/音声 とも)、電源オン/オフ、オンスクリーン表示/選択 (明るさ、コントラスト、 カラー*2、色相*2、シャープネス*2)		
最大表示解像度 (横×縦)		1600×1200 (デジタル補間)		
入力信号	R,G,B,H,V		RGB : 0.7Vp-p / 75Ω 正極性 Y : 1.0Vp-p / 75Ω 正極性 Cb,Cr (Pb, Pr) : 0.7Vp-p / 75Ω H/V Sync : 4.0Vp-p / TTL 正極性 / 負極性 Composite Sync : 4.0Vp-p / TTL 正極性 / 負極性 Sync on G : 0.3Vp-p / 75Ω (With Sync) 負極性	
	コンボジットビデオ		1.0Vp-p / 75Ω	
	S-ビデオ		Y : 1.0Vp-p / 75Ω C : 0.286Vp-p / 75Ω	
	音声		0.5Vrms/22kΩ以上	
	入出力端子	コンピュータ	映像入力	ミニD-Sub 15ピン×2
			映像出力	ミニD-Sub 15ピン×1
			音声入力	ステレオミニジャック×1
音声出力			ステレオミニジャック×1	
ビデオ		映像入力	RCA×1	
		音声入力	RCA(L/MONO.R)×1	
S-ビデオ	映像入力	ミニDIN 4ピン×1		
	音声入力	RCA(L/MONO.R)×1		
PCコントロール端子		ミニDIN 8ピン×1		
水平解像度		NTSC : 540TV本		
使用環境		動作温度 : 5～35℃ 動作湿度 : 20～80% (ただし結露しないこと) 保存温度 : -10～50℃ 保存湿度 : 20～80% (ただし結露しないこと)		
電源		AC 100V 50/60Hz*3		
消費電力		ランプノーマルモード時 : 250W ランプエコモード時 : 200W		
スタンバイ時消費電力		8W		
定格入力電流		2.7A		
外形寸法		294(幅)×93(高)×260(奥行)mm (突起部含まず)		
質量		約3kg		

*1 : 有効画素数は99.99%以上です。

*2 : NTSC/PAL/SECAM/ビデオ入力時のみ調整可能です。

*3 : 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。

●この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状を故障・修理に関するお問い合わせ先（「お問い合わせ先」➡85ページ）の受付担当者へお伝えください。

※このページと次のページをコピーしてお使いください。

発生頻度 ☐ 常時 ☐ 時々 (☐ 回中 ☐ 回) ☐ その他 ()

電源関係

- | | |
|---|---|
| ☐ 電源が入らない (POWERインジケータが緑色に点灯しない)。 <ul style="list-style-type: none">☐ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。☐ 主電源スイッチは「入」になっている。☐ ランプカバーは正しく取り付けられている。☐ ランプを交換した場合、ランプ時間をクリアした。☐ (POWER) ボタンを2秒以上押しても電源が入らない。 | ☐ 使用中、電源が切れる。 <ul style="list-style-type: none">☐ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。☐ ランプカバーは正しく取り付けられている。☐ パワーマネージメント機能のある機種においてパワーマネージメントは「動作」に設定されている。☐ 電源オフタイマー機能のある機種において電源オフタイマーが設定されている。 |
|---|---|

映像・音声関係

- | | |
|--|---|
| ☐ パソコンの画面が投写されない。 <ul style="list-style-type: none">☐ パソコンと本機を接続したあとにパソコンを起動してもなおらない。☐ ノートパソコンにおいて外部出力信号が出力されている。
FMVシリーズは[Fn]キー+[F10]キー、DOS/V対応機の場合は[Fn]キー+[F1]~[F12]キーのいずれかを押しと外部出力信号が出力されます(パソコンによって異なります)。 | ☐ 映像が歪む。 <ul style="list-style-type: none">☐ 台形に歪む (台形補正を実行してもなおらない)。 |
| ☐ 映像が出ない (ブルーバック・ロゴ・表示なし)。 <ul style="list-style-type: none">☐ (AUTO ADJUST) ボタンを押してもなおらない。☐ [データリセット] を実行してもなおらない。☐ 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。☐ 画面に何かメッセージが出ている。()☐ 接続している入力を選択している。☐ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。☐ 入力に対応している解像度・周波数の信号である。 | ☐ 映像が切れる。 <ul style="list-style-type: none">☐ (AUTO ADJUST) ボタンを押してもなおらない。☐ [データリセット] を実行してもなおらない。☐ 水平または垂直方向に映像がずれる。☐ コンピュータ映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。☐ 入力に対応している解像度・周波数の信号である。☐ 数ドット欠けている。 |
| ☐ 映像が暗い。 <ul style="list-style-type: none">☐ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。 | ☐ 映像がチラつく。 <ul style="list-style-type: none">☐ (AUTO ADJUST) ボタンを押してもなおらない。☐ [データリセット] を実行してもなおらない。☐ コンピュータ映像入力で文字がチラついたり、色がずれている。 |
| | ☐ 映像がぼやける・フォーカスが合わない。 |
| | ☐ 音が出ない。 <ul style="list-style-type: none">☐ 音声入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。☐ 音量を調整してもなおらない。 |

その他

- | | |
|---|--|
| ☐ リモコンが効かない。 <ul style="list-style-type: none">☐ リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。☐ 蛍光灯の近くに本体が設置されている。 | ☐ 本体操作パネルのボタンが効かない。
[本体キーロック] 設定のある機種において <ul style="list-style-type: none">☐ 本体キーロック設定は「非動作」または「無効」に設定されている。☐ 本体の (EXIT) ボタンを10秒以上押してもなおらない。 |
|---|--|

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクタ

型名: PJ-X2511

製造番号:

購入時期:

ランプ使用時間:

ランプモード: ☐ ノーマル ☐ エコ

入力信号情報:

水平同期周波数 [kHz]

垂直同期周波数 [Hz]

同期極性 H ☐ (+) ☐ (-)

V ☐ (+) ☐ (-)

同期形態 ☐ セパレート ☐ ミックス

☐ Gシンク

STATUSインジケータの状態

点灯 (オレンジ・緑)

点滅 (回周期)

設置環境

スクリーンサイズ: 型

タイプ: ☐ ホワイトマット ☐ ビーズ ☐ 偏光

☐ 広視野角 ☐ ハイコントラスト

投写距離: m

投写方法: ☐ 天吊り ☐ 床置き

電源コンセントは?

☐ 壁からのコンセントを直接利用している。

☐ 電源用テーブルタップを利用している。

(他、接続機器の数: 台)

☐ 電源ドラム (ロール式) を利用している。

(他、接続機器の数: 台)

コンピュータ

メーカー:

型名:

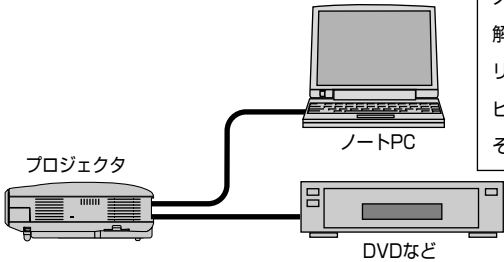
ノートPC・デスクトップ型体

解像度:

リフレッシュレート:

ビデオボード:

その他:



信号ケーブル

純正・その他 (型名: 長さ: m)

分配器 型名:

スイッチャ 型名:

アダプタ 型名:

接続機器

ビデオ・DVD・カメラ・ゲーム・その他

メーカー:

型名:

索引

数字／アルファベット

AC IN 端子	15,30
LAMPインジケータ	17,87
POWERインジケータ	17,86
RGB信号ケーブル	12,26
sRGB	56
STATUSインジケータ	17,86

五十音

【ア行】

明るさ 赤/緑/青(ユーザー設定)	57
明るさ(映像調整)	57
アスペクト	59
位相	67
インジケータ	85
映像調整	56
エコモード	61,68
オンスクリーンメニュー	50
オンスクリーンメニュー一覧	54
温度プロテクタ	87
音量調整	40

【カ行】

解像度	90
拡大	45
画像設定	58
壁色補正	56
カラー	57
ガンマ補正	57
乾電池(単4)	12,21
キーワード	63
機器設定	61
キャリングハンドル	12,16
吸気口	15
強制エコモード	50,61
クロック周波数	67
コントラスト 赤/緑/青(ユーザー設定)	57
コントラスト(映像調整)	57

【サ行】

色相	57
自動台形補正	37,58
自動調整	40,66
シネマポジション	60
シャープネス	57
主電源スイッチ	15,33,41
詳細設定	63
情報	68
信号選択	35,65
垂直	67
水平	66
ズームレバー	15,38
スクリーンサイズ	25,88,89
スピーカ	15,40
静止画	44
セキュリティ	63
接続端子部	15,18
ソフトキャリングケース	12

【タ行】

対応解像度一覧	90
台形補正	37,39,58
台形補正保存	58
チルトフット	15,37
チルトレバー	15,37
通信速度	67
データリセット	69
電源オフ確認メッセージ	41
電源オフタイマー	61
電源コード	12,30
投写角度	37
投写距離	25,88
投写方法	62
盗難防止用ロック取り付け穴	15

【ナ行】

入力信号	35
ノイズリダクション	66

【ハ行】

排気口	15
バックグラウンド	62
パワーマネージメント	65
ビープ音	62
ピクチャーマネージメント	56
表示言語	61
表示時間	61
表示色	61
ファンモード	65
フィルタ	15,72,79
フィルタ時間クリア	69
フィルタ使用時間	69
フォーカスリング	15,38
フリッカーリダクション	66
ページ2（詳細設定）	65
本体キーロック	64
本体操作部	15,17

【マ行】

マウス操作	46
マウスレシーバ	46

【ヤ行】

ユーザー設定	57
--------	----

【ラ行】

ランプカバー	16,76
ランプ時間クリア	69
ランプ使用時間	68,78
ランプモード	61
リモコン	12,19
リモコン受光部	15,21
リモコンの有効範囲	21
レンズ	15,73
レンズキャップ	15
ロゴ	62



液晶プロジェクタ (PJ-X2511)
取扱説明書

B5FY-6821-01-00

発 行 日 2006年4月
発行責任者 富士通株式会社

Printed in China

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁はお取り替えいたします。